

第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画素案に係るパブリックコメント手続の実施結果(令和元年12月23日～令和2年1月27日実施)

意見等を提出した 人数(団体)	対応区分	件
	A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	3
59人(団体)	B. 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの	91
	C. 計画案に盛り込まないもの	1
	D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	131
	E. その他要望・意見等	114
	計	340

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
1	第3章 計画の基本的考え方	結婚に対する価値観をどうするかという視点も入れてほしい。	本計画は子育て支援に重点を置いた計画であることから、結婚支援については掲載していないところですが、少子化対策として同支援も重要であると考えております。一方で、婚姻をはじめ、ひとり親や里親など、家庭に対するイメージは様々ですが、子どもを育てることに夢を持てる環境づくりを進めていく必要があることから、第1章1(1)策定の趣旨の3～4行目の文中に子どもが育つ場を持つことを趣旨として、「 <u>家庭を築き</u> 」を追加し、「(略)、総合的に子育て支援対策を図り、男女がともに、 <u>家庭を築き</u> 、子どもを生き育てることに夢を持てる環境づくりを社会全体で進めることが必要となります。」とします。	A
2	第4章 施策の展開	子育ての喜びを知り、結婚の期待を高めるような手立てはどうかあればよいのかについて、触れてほしい。		A
3	第4章 施策の展開	(3)⑨「指標及び目標一覧」(概要版P15(素案P98))における「No.3積極的に育児をしている父親の割合」の目標値(64.0%)が低すぎると感じました。父親を対象とする育児の講座や企業の取り組みでもっと改善できるのではないのでしょうか(一人親の家庭を考慮しての数字なのでしょう。子育て世代ですが、不安になります)	概要版P15(素案P98)(3)⑨「指標及び目標一覧」における「No.3積極的に育児をしている父親の割合」の目標値につきましては、育児における父親の役割は重要であり、父親の育児参加の促進に向けた取組を充実させていく必要があることから、国の「健やか親子21」の目標を踏まえ「 <u>70.0%</u> 」に変更します。	A

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
4	第1章 計画策定にあたって	子育て支援の充実により、安心して、出産・子育てできる環境が分かりやすく、目に見えて計画を知っていけるようになってほしいです。	賛同のご意見として承ります。	B
5	第1章 計画策定にあたって	概要版1P(素案P2)の2(2)計画の対象となる者(3)計画の対象となる分野で、校区コミュニティ協議会も対象とならないか。	地域(校区)コミュニティ協議会も対象となります。	B
6	第1章 計画策定にあたって	「一人一人の子どもが健やかに成長できる街であり続けるためには」子どもを産んだ親自身が心の安定を保ち、誰にでも相談できる場を作っていくことが必要だと思います。身近に信頼できる環境を作ることが必要です。	第4章(2)地域における子育て支援(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進にあるように、子育ての段階において相談できる体制を備えていくこととしております。	B
7	第1章 計画策定にあたって	急速な少子化問題解消に向けて、子どもを産み育てようとする若者たちが、働こうと思う企業や魅力ある鹿児島市づくりが重要だと考えます。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、若者が働きたいと思う職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
8	第1章 計画策定にあたって	妊娠、出産期から切れ目のない、子ども・子育て支援を目指すのはとても素晴らしく、切れ目のないということ意識して下さっていることに感動しました。	賛同のご意見として承ります。	B
9	第1章 計画策定にあたって	妊娠、出産期から、切れ目なく子育て支援をしていただけるのはとてもありがたいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
10	第1章 計画策定にあたって	子育て支援の向上を願って、計画は5ヵ年計画ではなく、毎年、もしくは、2年に1度見直し、現状に合わせて行ってほしいです。	第6章計画の推進にあたってにおいて、教育・保育施設等の利用状況が計画における量の見込みと大きく乖離が生じる場合などは、計画期間の中間年度(令和4年度)を目安として、計画の見直しを行うこととしています。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
11	第1章 計画策定にあたって	第一期からの施策の恩恵を、これまで受けてきたことが分かりました。ただ、情報が少なく、そのことも知りませんでした。「切れ目のない支援」、ぜひ実施していただきたいと思います。(現時点で、第一子、第二子共に、産後の新生児訪問までは、市からの手厚い支援を実感しましたが、その後の悩みや孤独感を、支援センターに出会うまで持て余しました。新生児訪問で支援が切れたイメージでした。)	妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を計画に盛り込んでおり、これらの子育て支援に関する様々な情報発信を行うこととしております。	B
12	第1章 計画策定にあたって	全国的な人口減少は、鹿児島市も同様であります。19歳以下人口の減少も顕著であり、少子化が懸念されます。そのような中で市当局がこのような計画策定に動かれることは、素晴らしいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
13	第1章 計画策定にあたって	“男女がともに子どもを生み育てることに夢を持てる環境づくりを社会全体で進める”と“妊娠・出産期から切れ目のない、子ども・子育て支援に関する総合的な計画”という部分に共感できた。	賛同のご意見として承ります。	B
14	第1章 計画策定にあたって	概要版3頁、4女性の就業率のM字カーブは以前より、緩やかになっていますが、社会全体で子育て支援を行うことに賛成します。	賛同のご意見として承ります。	B
15	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	育児休業は母親の取得は増えているが、父親の取得はほとんど増えていない。鹿児島市の率先した取り組みを望みます。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
16	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	最近になって「育休」を取得する“父親”が増えてきているようですが、やはり産んで育てるのは“母親”だという考え方が根深いと思います。周りでも女性の方が育休をとることがあたりまえだという感じです。子供が熱を出し、仕事を休む時の職場の方の態度や、パート勤務の収入の不安定など、心に常に不安を抱えていると精神的にも安定しないと思います。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
17	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	グラフもあり、分かりやすく書かれていると思います。20代から男性の数も減り、県外へ流れているのかと思います。雇用の場が増える事を願います。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、若者が働きたいと思う職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
18	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	女性の就業については、30-40歳という本来であればキャリア形成をしていく期間に子育てのために色々な制限が出てしまうのは、とても残念なことだと思う。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
19	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	女性の就業率が高くなっているのに伴い、出生率が下がっているというのは、女性の晩婚化や子どもを産みたくても産めない、産みにくい職場環境があるからではないのか。産んでもワンオペ子育てになってしまう不安などもあるのではないだろうか。そこら辺を、どうにかしてあげてほしい。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供を推進していくこととしております。	B
20	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	グラフを見ると、やはり出産・育児をするであろう年齢の女性の就業率が多いと感じました。共働きが一般的になっている今、子育てをしながら働ける職場の環境作りや周囲のサポートが重要だと思いました。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、き労働局など関係機関と連携を図りながら、市内事業所の働きやすい職場づくりに向けた取組を進めてまいります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
21	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	保育園、療育(放課後デイ)の数がふえ、利用しやすくなり、すごくありがたかったです。	賛同のご意見として承ります。	B
22	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	少子化、ひとり親、貧困等、格差の広がりを感じます。親が安心して子育て出来、又、子どもたちも希望をもって生活できる環境作り(児童クラブ、子ども食堂、保育園、障害児支援)、経済的支援をお願い致します。	本計画に基づき、教育・保育の提供体制の確保を図るとともに、ひとり親家庭の保育所等への入所を優先的に取り扱うなど、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進していくこととしております。また、子ども食堂をはじめとした地域で子ども達を支援する活動の取組の推進を図ってまいります。経済的支援につきましては、第4章(1)幼児教育・保育の充実、(10)障害のある子どもの支援、(12)子育てに対する経済的支援等の中で、保護者負担の軽減として、幼児教育・保育の無償化など、引き続き経済的支援の取組を推進していくこととしております。	B
23	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	シングルマザー、シングルファザーの方も多い。園としてもできる限りのフォローをしているが、市の対策として積極的に関わってくれているのかなと思うこともある。	第4章(9)ひとり親家庭の自立支援等の推進において取り組んでいくこととしております。	B
24	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	働きたいと望む場合、なかなか子育てをしながらというのは難しいです。希望の職に就けたとしても妊娠、出産のため離職、休職しなければならない場合、職場に迷惑をかけてしまうという気持ちがあるから、私はある程度子育てが落ち着いて働きたいと思っていますが(転勤もあるので)可能なら働きたいという気持ちもつねにあります。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
25	第3章 計画の基本的考え方	子育ては、男女が協力してとありますが、どうしても女性への負担が多く、家事・子育てが女性任せとなる家庭が多いと考えます。 男性の職場の環境、家庭への介入のしやすい働き方改革が、大々的にされていけば、女性の負担も減り、子供をほしいという考えにもなるのではないのでしょうか。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、固定的性別役割分担の解消やワーク・ライフ・バランスの推進、家庭・地域等への男性の参画を重視した広報・啓発、情報提供など、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための取組を推進していくこととしております。また、引き続き労働局など関係機関と連携を図りながら、市内事業所の働きやすい職場づくりに向けた取組を進めてまいります。	B
26	第3章 計画の基本的考え方	子育て支援の社会資源は増えている。これからは子育て家庭の全世帯に対して早期にアセスメントが行われ、多機関連携(支援者会議)が進み、子育てが楽しくまた仕事と両立できるような子育ての資源の拡充と情報提供を期待します。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供を推進していくこととしております。	B
27	第3章 計画の基本的考え方	すばらしい考え方である。子供の事に関しては、児童相談所を早期に設置してほしい。	第4章(8)児童虐待対策の推進⑤児童虐待対応の体制強化の中で、児童相談所の設置など、児童虐待対応の体制強化の取組を進めることとしております。	B
28	第3章 計画の基本的考え方	働く女性にとって、出産、妊娠しても保育園に入所でき、支援してもらえるのはとても有難いと思います。待機児童解消がもう少し実現していけるといいと思います。	第5章2教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期に記載のとおり、教育・保育の提供体制の確保を図るとともに、第4章(1)幼児教育・保育の充実にあるように、潜在保育士の掘り起こしや、保育士養成施設の学生の就労促進などの保育人材確保に努めるなど、今後も本計画に基づき、待機児童解消に向けて取り組んでまいります。	B
29	第3章 計画の基本的考え方	子どもをとりまく環境の充実を図ることが明記されていて、安心できる考え方だった。	賛同のご意見として承ります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
30	第3章 計画の基本的考え方	理念や考え方のような社会が実現できれば、本当に住みやすいですが、幅が広すぎて、目の行き届かない所や実現できないところも出てくると思うので、丁寧な施策の実施をお願いしたいです。	具体的な施策の実施にあたっては、第4章に記載のとおり、施策ごとに体系的に取組を進めてまいります。	B
31	第3章 計画の基本的考え方	基本理念 賛成いたします 視点(1)～(8)もそのとおり！と思います。 ただサービス評価という言葉が気になりました。評価するというのは、とても疑問です。慎重にする必要があるのではないのでしょうか？	賛同のご意見として承ります。 なお、「サービス評価」については、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定指針において、「サービスの質を評価し、向上させていくといった視点から、人材の資質の向上を図るとともに、情報公開やサービス評価等の取組を進めることが重要」とされております。	B
32	第3章 計画の基本的考え方	不妊治療費を、回数、上限金額を決めて補助して頂けると負担が少し軽くなり、治療を経済的な理由で断念せずに済むのではないかと思います。	第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進⑧不妊や不育症に悩む方に対する支援の充実において、不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施することとしております。	B
33	第3章 計画の基本的考え方	3つの基本理念、8つの基本的視点をもとに、子どもや子育て家庭、必要とする方への支援ができるよう自分たちでもできる事がないか考え、少しでも環境づくりに参加する事ができたらと思いました。	賛同のご意見として承ります。	B
34	第3章 計画の基本的考え方	とてもすばらしい基本理念と基本的視点だと思います。この基本的考えのもとで、全ての子育て中の市民が、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることができるよう、社会全体でサポートしあえる考え方だと思えました。	賛同のご意見として承ります。	B
35	第3章 計画の基本的考え方	子育てしていくには、安心して子どもを育てていける社会や環境づくりが、これから必要なのだとわかりました。	「子どもを持ちたいと希望する人が安心して子どもを産み育てることができる社会づくり」を基本理念の一つとしております。	B
36	第3章 計画の基本的考え方	子どもや子どもを持ちたい人を中心とした良い考え方だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
37	第3章 計画の基本的考え方	3項目の基本理念、8項目の基本的視点の策定素晴らしいと思います。ぜひ、施策、取組を推進して欲しい。	賛同のご意見として承ります。	B
38	第3章 計画の基本的考え方	概要版P4(素案P66)2(3)利用者の立場に立つところで妊娠、出産期から切れ目のない支援を行っていくことで、やはり切れ目がないことが、スムーズな支援ができると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
39	第3章 計画の基本的考え方	素晴らしい考え方だと思います。今はまだ支援の切れ目を感じたり、安心して子どもを生み育てることができる社会と言い切れるか、と考えると、まだ改善の余地もあるように感じたりします。やはり、日々の育児の中で発生してくる悩みを、気軽に相談できる場所や、困った時に頼れる人を、地域に作っていくこと、それを妊娠中の方や産後の女性に知らせていく必要があると思います。	第4章(2)地域における子育て支援①地域における子育て支援サービスの推進の中で、すこやか子育て交流館や親子つどいの広場では、幅広い相談に対応し、必要に応じて、専門機関等や地域と連携しながら子育て支援を行っていくこととしております。また、第4章(3)②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実において、妊産婦等への取組を推進していくこととしております。	B
40	第3章 計画の基本的考え方	“子は国の宝”と言われるますが、子どもにはあらゆる可能性を秘めていると思います。明るく健やかに育つことを念じつつ、家庭や関係団体等地域社会が協力しあっていくことが大切ではないかと思います。	第6章に記載のとおり、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要であり、各主体が協働して子育て支援に取り組んでいくこととしております。	B
41	第3章 計画の基本的考え方	“子どもが生まれる”ということは、本当に素晴らしく、奇跡的なことです。1人の子どもを生み、育てることに、有り難さや幸せを感じる一方、大変さも感じています。ぜひ、この基本理念、基本視点をもとに、サポートしていただけると助かります。	賛同のご意見として承ります。	B
42	第3章 計画の基本的考え方	育てにくさを感じる親に寄り添う支援をぜひすすめて下さい	第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進③育てにくさを感じる親に寄り添う支援において、育てにくさを感じる親が、育児に余裕と自信を持ち親としての役割を発揮できるよう、親や子どもの多様性を尊重し、それを支える社会を目指した支援に努めていくこととしております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
43	第3章 計画の基本的考え方	基本理念すばらしいと思います。	賛同のご意見として承ります。□	B
44	第4章 施策の展開	ペアレントトレーニングなどの親支援を拡充いただきたい。	(10)障害のある子どもへの支援の中で、障害のある子どもたちと保護者に対する、切れ目ない、きめ細かい支援により、障害のある子どもたちが、その特性に応じた能力を十分に発揮できるよう、福祉サービス等の充実と、社会環境の整備に努めていくこととしております。また、今後も特別支援教育保護者支援事業を充実し、子育てに関する不安や悩みの軽減に努めてまいります。	B
45	第4章 施策の展開	近年、障害を持つ子どもへの支援は大変充実してきたが、これからの方向性としてソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の世界的流れを考えて、保育所等訪問支援事業や巡回相談等による保育園等での統合保育のより充実することを期待します。	(10)障害のある子どもへの支援の中で、多様な教育・療育等の確保を図るため、保育所、幼稚園等において、障害児保育を推進していくこととしております。	B
46	第4章 施策の展開	(11)配偶者等からの暴力に対する対策の推進、今や全国的にこの問題が大きく取り上げられ、事件や事故が多発している。何とか入り口で防止出来ないか。	DVの未然防止を図るため、中学校等においてデートDV講演会や講座を開催しているほか、庁内外における連絡会議を開催するなど、関係機関と緊密に連携・協力し、DV被害の早期発見・早期対応に努めているところであり、引き続き、(11)配偶者等からの暴力に対する対策の推進を図ることとしております。	B
47	第4章 施策の展開	子育て支援に関する取り組みの多さに満足感を感じます。環境の整備から親への支援、ひとり親家庭への支援、障害、DVなど様々な面から支援の取組があり、とても良いと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
48	第4章 施策の展開	各分野に分かれていて、詳細に書かれてあった。このように展開できると素晴らしいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
49	第4章 施策の展開	(1)～(12)までとてもわかりやすく良いと思います。 (10)障害のある子どもへの支援の所で、障害ではないけど手厚い保育、支援が必要な幼児も多くなっています。療育に通う幼児も多くなっています。又、療育施設も増えています。そういうところも(10)の中に入れてもよいかと思いました。	(10)障害のある子どもへの支援の中で、多様な教育・療育等の確保を図るため、障害児通所支援事業所、保育所、幼稚園等における障害児保育を推進するとともに、各種相談等の推進に努め、障害の早期発見、早期治療や療育、保護者の支援等に取り組んでいくこととしております。	B
50	第4章 施策の展開	いろんな施策の体系が出来ているが、もう少し皆に知ってもらい興味を持ち、相談やアドバイスをしてもらったり、気軽に足を運びやすい環境を作してほしい	(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援の中で、子育てに関する相談窓口など、子育て支援に関する様々な情報発信を行うこととしております。	B
51	第4章 施策の展開	多くの視点から市民の子育て環境を守り、更によくなるような支援がなされるよう記述があり、素晴らしいと感じました。これだけ充実しているので市民は何か困った時に頼れる行政だと思います。文章にすると難しさも感じられますが、これだけの体制が整えられているので、もっと市民が身近に感じ、気軽に利用や相談が出来ることを望みます。(市役所の窓口へ行くと、対応される職員の方によって優しく丁寧だったり、無愛想で冷たかったり…と差を感じる事が多々あります。利用しやすい環境になりますように…)	第6章計画の推進にあたってにおいて、本市は、幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援並びに、次世代育成支援対策を総合的かつ効果的に推進する役割を担うこととしております。また、市民が身近に感じ、気軽に利用や相談が出来るよう努めてまいります。	B
52	第4章 施策の展開	色々な、子育て支援のための施策が実施され、より多くの視点から子どもたちの環境は守られているのだと、あらためて感じられました。とても良い施策なので、一人でも多くの子育て中の市民に周知してもらい、誰でも気軽に利用できる環境であり続けることを願います。	賛同のご意見として承ります。 なお、第二期子ども・子育て支援事業計画策定後、市ホームページに計画を掲載するとともに、子育て支援施設等に配布する予定です。	B
53	第4章 施策の展開	施策の体系として細かく分かれているが、一人目の子どもだと気付かないことも多いし、どこに行けばよいのかと誰に相談したら良いのかと思う人は多いと思う、結局、わからないまま面倒くさくなり、そのままにしている人も多いと思う。もっと身近にいつでも相談できる環境にしてほしい。	(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援において、子育てに関する身近な相談窓口など、子育て支援に関する様々な情報発信に努めていくこととしております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
54	第4章 施策の展開	たくさんの施策をうちだし細分化していて具体性がある点は良いと思う。この事業計画について積極的に市民に広告等で周知し、広めて市全体で取り組み、結果が出せるようにしてほしい。	賛同のご意見として承ります。 なお、第二期子ども・子育て支援事業計画策定後、市ホームページに計画を掲載するとともに、子育て支援施設等に配布する予定です。	B
55	第4章 施策の展開	施策の体系、概要は、詳細に丁寧に提示してあり、感心しました。支援、促進、実施、よろしくお願ひ致します。	賛同のご意見として承ります。	B
56	第4章 施策の展開	第6章(4)にあるように、父親と母親が育児を楽しめるための支援、父親の職場での産休をだれもがとれるように、企業などに自主的な促進をのぞむ。	父親と母親が育児を楽しめるための支援については、(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進③子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減において、取組を推進していくこととしております。また、父親の育休取得などについては、(6)職業生活と家庭生活との両立の推進にあるように、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
57	第4章 施策の展開	妊娠から出産、育児(保育所・幼稚園)、学校までの中で、ネットワーク各関係機関が密に連携してほしい。子供の発達支援の見える人が少ない様に思う。検査等行いたくても、数が少なく、予約したくても2,3ヶ月～半年以上の待ちが続いている。子供が成長するにつれ、不安や心配が増えてからでは遅い。早い時点でケアが必要と言うのであれば、心理士等増やしてほしい。保育園、幼稚園の頃から、心理士、ST、OT等に見てもらえる機会を行政でどうにかしてほしい。行政でスタッフを雇い、保育園等を巡回指導したりすることはできないのか?!就学前に、ことばの教室があり、そこで指摘を受けた子は、就学後にことばの教室に通わなければならない。就学前でことばのそのような指導ができれば就学時に少しは不安は取り除けないのか。子供のことを考えると充実した支援をうけさせたいのに、スタッフが少なすぎる。もっと人を(手厚く)増やしてほしい。	(10)障害のある子どもへの支援の中で、多様な教育・療育等の確保を図るため、障害児通所支援事業所、保育所、幼稚園等における障害児保育を推進するとともに、妊婦及び乳幼児健康診査や各種相談等の推進に努め、障害の早期発見、早期治療や療育、保護者の支援等に取り組んでいくこととしております。また、(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進③子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減などの取組を推進してまいります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
58	第4章 施策の展開	概要版を読ませていただきました。お示しされている内容に賛同します。福祉担当部局はもちろん、関係する部局、専門機関等、地域社会全体で支えていく体制が必要かと思えます。	賛同のご意見として承ります。 なお、第6章において、「家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。」としており、各主体が協働して子育て支援に取り組んでいくこととしております。	B
59	第4章 施策の展開	素案77ページ「新・放課後子ども総合プランに基づく取組の推進」のうち、(5)放課後児童クラブの役割をさらに向上させるための方策等についてですが、最後に「開所時間の延長については、児童クラブの運営体制等の課題があることから、引き続き検討を行います。」とあります。児童クラブの開所時間の延長は、すぐにでも取り組むべき問題だと思いますので、「検討」ではなく、「運営体制の整ったところから順次実現します」や「実施を目指して取組みます」であってほしいと思いました。理由は「小1の壁」を解消できるからです。保育分野が質、量ともに充実してきていて、働きながら子育てできる入り口が広がりました。多くの保育園が19時まで延長保育がありますし、雇用面でも3歳未満や未就学児には時短制度があります。ところが小学校に上がったとたん、児童クラブは18時までしか開所していないのに、時短制度は無くなりますし、任される仕事も増えてきます。一方で低学年のうちには1人で留守番できない子どももいますし、留守番できたとしても安全とは言い難いです。毎日ファミリーサポートをお願いするのも、毎日習い事をさせるのも大変です。そのため、働き方を見直したり、仕事を辞めざるを得なくなります。そうなると、せっかく充実させた保育分野も台無しになってしまうのではないのでしょうか。放課後児童クラブは、働きながら子育てするには欠かせない場所です。親も子どもも安心して過ごせるのは放課後児童クラブのおかげです。開所時間の延長について、更なるご検討をよろしくお願いします。	待機児童の解消が喫緊の課題であることから、その解消を目指して整備に取り組むこととしており、開所時間の延長については、支援員等の確保など児童クラブの運営体制や、運営費面での課題があることから、ご意見のとおり今後も検討してまいります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
60	第4章 施策の展開	思春期への学生への教育は、デートDVの他に、性教育や、LGBTQについても取り入れてもらいたいです。	性に関する指導については、学習指導要領に基づいて指導を行っております。また、性に関する指導推進事業において、助産師や医師、大学教授等からの指導を年間61校で実施しております。今後も(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進④学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実と健康教育の推進の中で、取組を推進していくこととしております。また、LGBTQ(多様な性)の教育については、人権尊重の視点に立った教育に努めていくこととしております。	B
61	第4章 施策の展開	<p>このような支援計画を初めて読みました。子供や親のために、色々なことを考えて下さっていることが分かりました。私なりに良くなる方法がないかを考え、記入しましたが、知識不足、言葉足らずの点がありましたら、申し訳ありません。</p> <p>(概要版P12,24(素案P91、P127)について)</p> <p>私は子供ができにくく、出産後も体調が悪く、そうってから改善し、いくらか良くなりましたが、悪くなってからでは時間がかかります。食事、生活習慣、生理時の体調管理等を小学校から高校まで、継続して教えてほしいです。その際、教師よりも、様々な女性の悩みを分かっている産婦人科医等の方がいいと思います。(学校訪問が難しい時は、産婦人科等で取り扱っている冊子を取り入れて教える等)親が教えるのも良いが、学校で男女とも共通意識とした方が、お互いに気づかえて、将来の夫のDV予防にも少しはなるのではないのでしょうか。</p>	性に関する指導推進事業において、助産師や医師、大学教授等からの指導を年間61校で実施しており、また、DVの未然防止を図るため、中学校等においてデートDV講演会や講座を開催しているほか、デートDV防止啓発誌を高校生に配布し、意識啓発に取り組んでいるところです。今後も(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進④学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実と健康教育の推進、(11)配偶者等からの暴力に対する対策の推進において、取組を推進していくこととしております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
62	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	提供体制について、学校・地域と連携していることは、よう理解できましたが、もう1つ子育て相談という点で弱さを感じます。人は不安があれば相談したくなるものなので、相談に特化した施設を各地域に点在させてはどうでしょうか。待ち時間、人目を気にする方もいらっしゃると思いますので、気軽に不安や疑問を相談できる施設が身近にあれば、市の施設内容の理解と普及という面においても好都合になると思います。	第5章の「地域子ども・子育て支援事業」については、第4章2(2)地域における子育て支援に記載のとおり、子育てに関する相談を充実させていくこととしております。 なお、すこやか子育て交流館や親子つどいの広場では、幅広い相談に対応し、必要に応じて、専門機関等や地域と連携しながら子育て支援を行っております。また、保育所等への入所などの相談に対応するため、保育コーディネーターを本庁・谷山支所・伊敷支所・吉野支所にそれぞれ配置しているほか、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」を市内5か所に設置しております。今後も、提供体制の確保に努めるとともに、関係機関との連携を深めながら、市民への周知広報に努めてまいります。	B
63	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	実際に支援が行われるよう細かな計画であると思った。各支援事業の連携に期待したい。	賛同のご意見として承ります。	B
64	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	配慮が必要な家庭への支援では、相談の窓口がよく分からない。相談しても関連機関との連携ができていない印象を受ける。関連機関での情報共有、協力をしっかりしてほしい。	第4章(2)地域における子育て支援①地域における子育て支援サービスの推進、(10)障害のある子どもへの支援の中で、妊婦及び乳幼児健康診査や各種相談等の推進に努めるとともに、保健・医療・福祉の連携を図り、障害の早期発見、早期治療や療育、保護者の支援等に努めていくこととしております。	B
65	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	幼稚園型認定こども園については、基準を満たす場合は認定するとのこと、その方向でとても良いと思います。幼保小の連携は大切だと思います。小学校の先生方のご苦勞も目にうかびます。私共もできる限り、情報等提供し、連携をとりたいと思います。	賛同のご意見として承ります。また、ご意見も参考にしながら、幼保小の連携等に取り組んでまいります。	B
66	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	少子化の時代だが、保育園や子育てサポートを利用したい方がたくさんいるので、量の見込みと確保の方策ができていれば対応しやすくていいと思いました。	計画に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制を確保できるよう、努めてまいります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
67	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	支援事業の提供体制も確保、内容等、よく考えられており、昔とくらべて、子育てがしやすい環境になったと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
68	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	概要版P28(素案P143～168)の3地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期は利用希望に対して提供体制の確保がよくなされていると思う。	賛同のご意見として承ります。	B
69	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	概要版にお示しされている内容に賛同します。あとは市内各エリアの人口、交通事情、地理的条件等をも考慮していただき、検討していただきたいと思います。	賛同のご意見として承ります。 なお、提供区域については、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件及び教育・保育施設の整備状況等を総合的に勘案して設定しており、この区域については、第五次鹿児島市総合計画において、地域の特性に応じたまちづくりを推進する観点から定めた地域区分に準じております。	B
70	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	支援の必要な保護者、子どもへの伝え方の工夫をして、とり残されることのないようにしていただきたい。	支援を必要とする方々が、必要なサービスを受けられるように、第4章(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援において、子育て支援に関する様々な情報発信に努めていくこととしております。	B
71	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	(概要版P26(素案P131)について) 既にされているかもしれませんが、保育士が足りない地域は、祖父母や近所の人に協力してもらうのはどうでしょうか。(時間があるときだけでも)	給食の配膳などの周辺業務を行う、保育士資格を有しない保育支援者を保育所等が雇用した場合の人件費を補助する制度を活用することで、周辺住民等のご協力をいただくことは可能と考えております。	B
72	第6章 計画の推進にあたって	保育の現場はもとより、家庭においての子育てはとても大切だと思います。働き方をもっと調節できるようにし、子供と向き合う時間を作れるような環境づくりが大切だと思います。	第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進①市民や事業主への広報・啓発、情報提供の中で、ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業を設けて、男女がともに働きやすい職場づくりの推進を図っております。今後も引き続き労働局など関係機関と連携を図りながら、市内事業所の働きやすい職場づくりに向けた取組を進めてまいります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
73	第6章 計画の推進にあたって	子供を産むのをためらったり、3人目以降を…と考えると経済的負担、体力的に限界を考えます。親の責任と押し付けるのではなく、一緒に子育てをする地域になれば良いです。	第6章に記載のとおり、「家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。」としております。	B
74	第6章 計画の推進にあたって	「(2)家庭の役割について」では、子どもと関わることに知識が乏しい親にとっては、育児ノイローゼなどになるというリスクも考えなければならないと思います。	第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進の中で、安心して子どもを生み、ゆとりを持って健やかに育てるための家庭や地域の環境づくりを進めていくこととしており、②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実において、妊産婦の心の支援など取組を推進してまいります。	B
75	第6章 計画の推進にあたって	次代を担う子どもの健やかな成長には、家庭の役割が大きいと感じる。特に、乳幼児期には親子のスキンシップを大切にしたいと思います。	第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進の中で、安心して子どもを生み、ゆとりを持って健やかに育てるための家庭や地域の環境づくりを進めていくこととしており、②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実において、取組を推進してまいります。	B
76	第6章 計画の推進にあたって	子どものために行政や家庭、地域、企業、職場全体の役割を果たしていくことが大切だと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
77	第6章 計画の推進にあたって	どの項目もすばらしい枠組みが完成しているので、これに添って、市民をもっと巻き込んで温かい思いやりにあふれた取組みを具体的に実現できたら良いなと思います。	賛同のご意見として承ります。各主体が協働し、子育て支援に取り組んでいくこととしております。	B
78	第6章 計画の推進にあたって	それぞれの役割を明確に示すことは大切だと思う。もっと大々的に記してもいいと思う。	賛同のご意見として承ります。なお、他の章とのバランスを図るため、記載方法等は現行どおりといたします。	B
79	第6章 計画の推進にあたって	5つの役割が大切だと思います。	賛同のご意見として承ります。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
80	第6章 計画の推進にあたって	産後、母親を最も身近でサポートすべき人はやはり父親(配偶者)だと思います。育児休暇を取得するまではなかなか難しいというのが現状だと思いますので、新生児のいる家族の男性は、産後、半年～1年位早く帰宅させてあげるなど、事業主、職場で配慮して頂けると、大変ありがたいのではと思います。(自分から申請しにくい環境もあると思いますので…)	第4章(6) 職業生活と家庭生活との両立の推進にあるように、労働者、事業主等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進に努めてまいります。	B
81	第6章 計画の推進にあたって	行政・家庭・地域・企業職場・各種団体の役割の必要性、重要性をそれぞれが理解し、同じ方向を向いてよりよい鹿児島市になる事を願います。	「家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。」としております。	B
82	第6章 計画の推進にあたって	鹿児島は、ワーク・ライフ・バランスが図れる整備が遅れがちなので鹿児島は産み育て、働きやすい都市であるということをアピールできるような雇用環境を作ってほしい。	第4章(6) 職業生活と家庭生活との両立の推進①市民や事業主への広報・啓発、情報提供の中で、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	B
83	第6章 計画の推進にあたって	子どもを育成する価値を社会全体で支援し、各々の役割を果たすことによって、子育て支援を質量ともに充実させることが、重要だと思います。	「家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。」としており、各主体が協働して子育て支援に取り組んでいくこととしております。	B
84	第6章 計画の推進にあたって	概要版P30・31(素案P171・172) (1)(2)(3)(4)(5)すべてそのとおりだと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
85	第6章 計画の推進にあたって	市当局、家庭、地域、職場、各種団体が各々役割を持ち、連携、協働しながら計画を推進していく必要があると思います。	「家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。」としております。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
86	第6章 計画の推進にあたって	概要版P30(素案P172)(2)の家庭の役割についてとても共感します。学校だけではなく、家庭での教育、親が子供に興味を持つことがとても大切だと思います。私も、子どもに愛情を伝えていきながら、自立できるように育てていきたいです。	賛同のご意見として承ります。	B
87	◆その他	子供1人1人が抱えている問題はそれぞれで、1人1人に対応することはとても難しいことだと思いますが、家庭や行政、地域、幼稚園、保育園それぞれの場所で力をつくすことが大事だと思います。	第6章計画の推進にあたってに記載のとおり、行政が子ども・子育て支援を質・量ともに充実させるとともに、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが重要です。	B
88	◆その他	子ども、子育て支援に対する事業計画は1～6の項目で詳細を文書や箇条書きで記されていて分かりやすいでした。この事業計画に基づいて、保育従事者として微力ながら、お力添えできればと考えています。	賛同のご意見として承ります。	B
89	◆その他	支援事業の実施、成功、失敗例等も経過報告を知りたいです。	第6章(1)行政の役割に記載のとおり、「学識経験者や保育・教育関係者等の市民による子ども・子育て会議を設置し、毎年度計画に基づく実施状況等について点検・評価を行い、計画の推進に反映させるとともに、その結果を公表する」としております。第一期計画においても毎年度、各施策の点検・評価を行っており、市ホームページで公表しております。	B
90	◆その他	◎学童(児童クラブ)利用時間の延長 希望として18:30迄にできないか。フルタイマーや、正社員で働いている親は17:00までがほとんどです。その時間から帰るので、職場が近い人や祖父母が助けられる環境の人は良いですが、職場が遠いと混む時間帯とも重なるので18:00に間に合わない家庭もあります。18:30まで預かってもらえるようにはできないか。	開所時間の延長については、第4章(2)地域における子育て支援③子どもの健全育成における新・放課後子ども総合プランに基づく取組の推進の中に、検討事項として盛り込んでいます。	B

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
91	◆その他	◎学童(児童クラブ)利用の教室の増員 武岡児童クラブは定員いっぱいまで活動しております。現在3クラスあり、1クラス当たり50名近い人数で、教室にフル動員すると、座れない子が出てきます。空いている教室があるので分散することはできないのか。	今後の児童数の見込みなどから量の見込みを算出し、その確保方策を、第5章3地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期において示しており、各校区の状況を踏まえ整備に取り組んでまいります。	B
92	◆その他	第一期市子ども・子育て支援事業計画に基づいて実践し見直されて作成された第二期事業計画に賛同します。	賛同のご意見として承ります。	B
93	◆その他	子ども・子育て支援事業計画は、あらゆる面から詳細に心配りされており、家庭、地域、行政、その他が一体となって計画が実施されることを切に願います。子どもたちが幸せに育ってほしいです。	賛同のご意見として承ります。	B
94	◆その他	ひとり親や(シングルマザー)への支援～住宅、経済的、DV被害から逃れてきた親子などへのサポートを充実してもらいたい。	今後とも第4章(9)ひとり親家庭の自立支援等の推進において取り組んでまいります。	B
95	第6章 計画の推進にあたって	素案P171(1)行政の役割 下から3行目 なお、教育・保育施設等の～の文については、計画が令和2年度から5年間と短期間のため削除しても良いと思う。	計画に基づき、状況に応じた施策を実施するため、必要に応じて見直しを行うこととしております。	C
96	第1章 計画策定にあたって	“子どもを産み育てやすい環境を整備”→欲を言えばキリがありません。教育、医療、その他のあらゆる子育てに係る費用をすべて無償化、子供が大学を卒業するまでの子育てに係る自己負担が軽ければ軽い程育てていくのに不安は少なくなると思いますが、その他に負担がかかるのは違うと思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
97	第1章 計画策定にあたって	計画自体はとても良いことだと思います。ただ子供をとりまく環境は年々悪化していると思われます。私保育園で働いていますが、保育士も足りず労働環境も良いとはいえません。子供を預かる場所がゆとりもあって子供たちを受け入れる事ができないと良くないと思います。その点にももっと力を入れてほしいです。	保育士等の働きやすい職場環境づくりにつきましては、処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図るとともに、業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成などを引き続き実施することとしており、今後も効果的な施策について検討してまいります。	D
98	第1章 計画策定にあたって	子育ては社会全体にとって大切なことであり、支援が必要である。価値観が多様化するなかで、難しいかもしれないが、社会全体の課題として発信していくことが必要である。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
99	第1章 計画策定にあたって	子育て支援制度実施のおかげで、経営的には恵まれました。保育教諭の新卒確保、不足に苦労しているところです。教職員の資質向上、教育・保育の質の底上げを図ることが重要であると感じています。	保育士等の確保につきましては、潜在保育士の掘り起こしや、関係機関と連携した保育士養成施設の学生の就労促進などに取り組んでまいります。 また、保育所等に対し、保育士等の研修費の補助を行うとともに、保育所等巡回指導員による巡回研修を実施し、保育の質の向上にも併せて努めてまいります。	D
100	第1章 計画策定にあたって	地域の関わりの薄さや核家庭が増え、相談する相手がいない	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章計画の基本的考え方(4)社会全体で子育て支援を行うに記載のとおり、保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識を前提とし、保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることができるよう、行政や企業、施設や学校、町内会などの地域社会が相互に協力しあって、「親育ち」の過程を支援していくことを含め、社会全体で子育てを支援していく施策を推進します。	D
101	第1章 計画策定にあたって	素案が先行して、その実施が伴っているか。結果をしっかりと見つけ、自分たちの問題としてうけとめているのか。反省からはじめなければ問題は何も改善しません。	ご意見も参考にしながら、第3章計画の基本的考え方の基本理念に掲げる社会の実現に向け、子育て支援施策を推進してまいります。なお、第6章(1)行政の役割として、「学識経験者や保育・教育関係者等の市民による子ども・子育て会議を設置し、毎年度計画に基づく実施状況等について点検・評価を行い、計画の推進に反映させるとともに、その結果を公表する」としてまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
102	第1章 計画策定にあたって	少子化問題が日本人全員に深く大きくかわる事だという意識が低いのだと思います。保育の無償化を0歳からに広げるなどの取り組みもちろん大切ですが、保育を担う立場としては、保育士の処遇改善・地位の向上、資質の向上がまだまだ末端にまで行き渡っている実感が感じにくいです。それぞれの子どもに携わる立場の人の幸せを目指してほしいです。	保育士の処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図るとともに、業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成などを引き続き実施することにより、保育士の働きやすい環境の確保に努めるとともに、今後も効果的な施策について検討してまいります。	D
103	第1章 計画策定にあたって	今の計画からいくと生み育てやすい政策に見えるが、実際は育休復帰の保育園で、親御さん達は点数ばかり気にしている。市の計画など耳を傾ける人がいるのかなと思う。	ご意見も参考にしながら、保育人材確保や教育・保育の提供体制の確保に取り組み、保育の必要な児童が利用できるように努めてまいります。	D
104	第1章 計画策定にあたって	夢を持って子育てできる環境作り、子育て支援の量的拡充、質の向上、保育の無償化など、国、地方が(充実した子育てが出来る様に)計画し、さらなる実行して欲しいと思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
105	第1章 計画策定にあたって	本当に子どものためになることを考える内容であってほしい。保護者のためになることを考える内容であってほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章において、「社会の希望であり、未来をつくる存在である子どもたちが、明るく健やかに成長できるような環境づくり」、「子どもを育てている人が、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような環境づくり」を、基本理念としております。	D
106	第1章 計画策定にあたって	妊娠・出産・子育てとどの時期も不安や心配なことはあるので、それを少しでも解消できるような環境作りを願っている。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章において、「子どもを持ちたいと希望する人が安心して子どもを生み育てることができる社会づくり」を基本理念の一つとしております。	D
107	第1章 計画策定にあたって	計画を立てて下さるのはありがたいことです。あらゆる分野が個々ならず、全てにおいて連携していけたらと思います。無駄な計画とならない様にしてほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
108	第1章 計画策定にあたって	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会を参考にしてほしい。鹿児島市の中だけで考えずに、子育て支援事業が成功している地域のことを知ってほしい。切れ目のない支援を本当に考えているなら、子育て支援センターを廃止すべきではない。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
109	第1章 計画策定にあたって	第一期事業計画推進時の事業見直しにより、5ヶ所の子育て支援センター廃止が決定されたが、数値のみを根拠とする判断決定と、市民への周知不足に、多くの利用者や現場支援者が困惑している。行政改革委員会の評価についても、現地調査や利用者への聞き取りすらなく、判断材料の不足を感じる。また運営日を3から4日型に縮小するなど、評価以上の見直しには納得しかねる。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
110	第1章 計画策定にあたって	いつもお世話になっております。現在、3歳と1歳の子育て、日中は保育園に勤務している者です。働きながら子育てをする中で、様々な行政サービスを受けられる有り難さに感謝する一方、これらがもっと市民に分かりやすく、広く認知されたいなという思いです。	ご意見も参考にしながら、子育て支援に関する様々な情報発信を行うこととしております。	D
111	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	契約社員が増え、女性の積極的な就業により、晩婚化となり、出生率の低下や不妊へとつながっていると考えます。家計の安定や、女性の仕事復帰への環境づくりが、伴っていくと、少子化の改善へとつながると思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
112	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	状況表を見るとよくわかります。少子化が進行していること心配です。国の将来も心配です。子育ては楽しいこと、子どもはかわいいこと…を伝えていけたらと思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章計画の基本的な考え方において、「子どもを育てている人が、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような環境づくり」を基本理念の1つとしております。	D
113	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	ひとり親家庭に児童扶養手当支給時に支援団体の紹介をされたい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
114	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	共働きや一人親世帯が増え子供達もゆっくりと日常生活を過ごすことがむずかしく、食卓を全員で囲むことも少ない、子育てに対して信頼できる助言者がいない	ご意見も参考にしながら、第3章計画の基本的考え方の基本理念に掲げる社会の実現に向け、子育て支援施策を推進してまいります。	D
115	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	安心して子育てのできる街になっていますか？おかげ様で私は、少し安心している状況です。しかし、安心感のない保護者が大勢いるのが実状です。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、第3章計画の基本的考え方において、「子どもを持ちたいと希望する人が安心して子どもを生み育てることができる社会づくり」を基本理念の一つとしております。	D
116	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	子どもと子育て家庭をとりまく状況については、少子化の現状、出生、医療、虐待などさまざまなことについて書いてあり、知らないことも多々あり勉強になりました。それぞれの状況について、支援の仕方は様々ではあると思うのですが、どのように支援していくのか(自分たちでもできることがあるのか)詳しく知りたいと思いました。	本市の子育て支援の取組は、子育てガイドや、夢すくすくネット等で紹介しております。 今後におきましても、ご意見も参考にしながら、第4章(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援にあるように、子育て支援に関する様々な情報発信を行ってまいります。	D
117	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	児童虐待の件数が年々、増加傾向である。いろいろな対策を画っているのは理解しているが、もっと具体的に、わかりやすく知りたいと感じました。虐待の早期発見が、もっとも大事だが、虐待が起こらないためにも、起こす前に気軽に子育てなどの悩みが相談できる環境を同時に、もっと増やしてほしいと願います。	ご意見も参考にしながら、今後も児童虐待予防等の取り組みを実施してまいります。	D
118	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	家庭を動かしているのは母親。職場での理解がとても重要と思う。もっと鹿児島市独自の子育てしやすい環境を作ってもらいたい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育てしやすい職場環境づくりを推進してまいります。	D
119	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	経済の悪化や生き方の多様化により子どもをとりまく環境が劇的に変化を遂げてきた。その結果、少子高齢化や国内の国際化が進んでいる。しかし、子どもたちはいつの時代も平等でありつづけなければならない。貧富の差も大きくなっているが、そこについても市として対応してほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
120	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	教職で、育休を続けてとるため、子どもを2人続けて産みました。復帰前のため、保育園へ上の子を入れることもできず、しかも上の子は発達障害もあり、2人の子どもの育児に手いっぱいです。3人目は今の段階では考えられない程、日々が必死です。育児支援＝就労支援だけではなく、「家庭での子育て」を支援していくことも、とても大切だと思います。女性が安心して「産み、育てられる」環境を整えることで、出生率は上がるのではないかと感じます。(環境は物理的だけでなく、人的な環境もあると思います。)	ご意見も参考にしながら、第4章「(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実」において、取組を推進してまいります。	D
121	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	子育てを安心してできる環境がないと子どもを産もうと思えないので、少子化は進んでしまうと思う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章において、「子どもを持ちたいと希望する人が安心して子どもを生み育てることができる社会づくり」を基本理念の一つとしております。	D
122	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	子どもと家庭をとりまく状況は年々厳しいものがあります。少子化がさらに進行しており、社会全体で考えなければならないと考えます。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
123	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	各表に共感し実感できる部分があった。第3子を考えるものの“働きたい”+“働かなきゃ(子育てのことでお金もかかるし)”という思いから、第2子で落ち着いた経緯がある。自身の年齢の事もあるが、この選択で良かったと思う。しかし、色々と余裕があれば思いきれたかな…と思う部分もある。女性は特に妊娠・出産で色々考え左右する部分が多い。”子ども(第3子)はいらない”というわけではなかった。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
124	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	鹿児島は全国的に見ても子どもの貧困は深刻、学力も低い。乳幼児期に健全に遊べる場所や支援を減らさないでほしい。3歳以上幼保無料になったからもうひとり産もうとは思わない。子どもを育てたいと思える環境の方がほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
125	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	鹿児島市の人口の推移を見てみると、増加傾向にあるにもかかわらず、それを年齢別にみると、やはり少子化が進んでいるのだと感じます。また、自分も含め女性の就業率が上がり、結婚・妊娠・出産に適している時期の女性が様々な理由で働いている現状に着目し、やはりそれも少子化に繋がっているのだと思いました。	多様な働き方に対応した子育て支援を推進し、職業生活と家庭生活が両立できる環境づくりに今後とも取り組んでまいります。	D
126	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	子育てサロンを地域で毎月実施していますが、参加できる保護者は大切ですが、孤立している方が心配です。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
127	第3章 計画の基本的考え方	各公園の遊具の再点検と新設を進めてほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、遊具点検は、毎年、定期的を実施しており、苦情・要望があれば、随時対応しているところです。また、遊具の種類や数については、公園の規模や特性等を考慮して設置しており、一定の整備を終えておりますが、特定の公園への新設要望があれば、現地調査等を行い検討してまいりたいと考えております。	D
128	第3章 計画の基本的考え方	支援をうけている側としては、現状なので感じる事ができますが、社会全体となると、いろいろな考え方の方がいらっしゃるから、子供をあまり好きでなかったり関わりたくない方もいると思います。その方達の理解も必要になるのではないかと思います。	価値観の押し付けとならないよう、ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
129	第3章 計画の基本的考え方	とても良いと思います。特に配慮が必要となる子供は増えていると感じます。なかなか配慮が必要な子供さんの親御さんに子供さんについて働きかける事は難しく、もっと専門的な人なり、機関なりを増やしていかないと保育士の先生方も日々かなり疲れています。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
130	第3章 計画の基本的考え方	安心して子どもを産み育てるには、環境が非常に大切であると思います。基本的視点にもありますように、母親が子育てにおいて孤立しないようにすることが特に大切であると思いますので、保育施設の増設とその為の職員の増員を、処遇改善を求めます。	教育・保育の提供体制の確保を図るとともに、保育士等の確保につきましては、潜在保育士の掘り起こしや、関係機関と連携した保育士養成施設の学生の就労促進に取り組んでまいります。 また、処遇改善の着実な実施による給与面の改善や業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成など、保育士等の職場定着化も図ってまいります。	D
131	第3章 計画の基本的考え方	待機児童のために、保育所の数は増えているように感じるが、待機児童解消には反映されていないと耳にする。保育士不足も原因のようだ。保育士業務(監査書類等)軽減を望む。	保育士業務の軽減につきましては、給食の配膳などの周辺業務を行う保育士資格を有しない保育支援者の人件費や、業務のICT化を行うために必要なシステムの導入経費の助成などを実施しており、今後も引き続き、各種事業に取り組んでまいります。	D
132	第3章 計画の基本的考え方	利用者の立場に立つとか社会全体で子育て支援を行うとか理想は分かるのだが、現実問題可能なのか考えてほしい。	基本理念に掲げる社会の実現に向け、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
133	第3章 計画の基本的考え方	社会に希望を持ち安心して子どもを産み育てる事ができる環境、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じる事ができる環境づくりが出来ていないと母親が子どもに余裕をもって接する事ができない。	ご意見も参考にしながら、基本理念に掲げる社会の実現に向け、子育て支援施策を推進してまいります。	D
134	第3章 計画の基本的考え方	各家庭の状況には差があり、行政等の公的機関の援助が必要など届いているのか気になります。ニュース等で話題になった各家庭に踏み込んで行くことと、プライバシーの境目などが良い例だと思います。せっかく生まれてきた大切な命を大人になっていくまで、みんなの目と思いで見守ってあげられたらと考えます。保育士として、子どもを持つ方々を全面的にサポートしていく気持ちはあります。でもなかなか子供に恵まれない人への不妊治療の助成金や制度利用に当たってのルールはもう少し拡充してもよいのでは？と自分自身がそうだったので強く思います。	「社会の希望であり、未来をつくる存在である子どもたちが、明るく健やかに成長できる環境づくり」を基本理念の一つとしております。なお、不妊治療の助成制度は、第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進⑧不妊や不育症に悩む方に対する支援の充実において、不妊に悩む方への特定治療支援事業を盛り込んでおります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
135	第3章 計画の基本的考え方	基本理念は、とてもいいと思いました。病児保育もまだ認知されていない人も多いと思うので、本当に必要な方々に知ってもらえるように努めていきたいと思います。	病児・病後児保育施設につきましては、市ホームページや窓口でのパンフレットの配布など、周知広報に努めておりますが、ご意見を参考にしながら、さらなる周知に努めてまいります。	D
136	第3章 計画の基本的考え方	書面での考え方としては、理解できるが、実際子育てをする上では、もっと利用しやすいサービス、病児利用時の補助、サポーター利用料等子育ての楽しさを知ってもらえる環境づくりを行ってほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、病児・病後児保育事業につきましては、住民税非課税世帯の利用料を減免するとともに、保育の必要性が認められる3歳から5歳児につきましては幼児教育・保育の無償化により、月額3万7,000円を上限に無償化されます。	D
137	第3章 計画の基本的考え方	一番に守られるべきは、子どもだが、助けを求めている保護者も多い。反面、深くかかわることを拒む方もいる。もれてしまう方にどのように関わっていけばよいのか。地域の民生委員の方々の力も大きいと思う。	ご意見は、具体的事業の実施にあたって参考とさせていただきます。 なお、地域における子育て支援については、第4章(2)地域における子育て支援⑤民生委員・児童委員との協働において、取組を推進してまいります。	D
138	第3章 計画の基本的考え方	子どもを持ちたい人が、安心して育てる環境が必要です。両親が市外に住んでいる子育て世帯、1人親世帯等必要な支援を受けられる体制を作ってほしい。(子どもの体調不良や、子育て中の両親が体調不良の時等、仕事で保育園や児童クラブに迎えに行ける人がほしい)働きたくても、正職としては働けない。残業がある仕事、職場がほとんど。恵まれている職場なんて数えるほどだと思います。色々な人たちの話を聞き、現状を変えてほしい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
139	第3章 計画の基本的考え方	2の(4)社会全体で子育て支援を行う、(6)地域における社会資源を効果的に活用するについて子育て支援が行われていることを知らないケース、アパート住まいでも周りとの交流もなく引っ越しなども多いとそもそも充実していても知らず活用しないケースもある、自分で情報の収集ができる人かそうでないか、人との交流が好きか苦手かで同じサービスを受ける権利があっても差が出てしまう。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
140	第3章 計画の基本的考え方	2(3)利用者の立場に立つと、(5)仕事と生活の調和の実現 に関しては、子育てするにあたりとても大切な部分だなと感じる。(私の子育てする環境において、個々でどの項目を大切に与えるかは違うことを前提に)(4)社会全体で子育て支援を行うに関しては、こちら側が積極的に地域と関わりを持つと思わなければいけない部分なので、“配慮が必要な子ども”の中の虐待、貧困にあたる環境の親・子に対する支援での関わりは難しいだろうと思った。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
141	第3章 計画の基本的考え方	子育て支援センターと親子つどいの広場は、機能重複していない。補完関係である。子育て支援センターがベースにあって、その上でつどいの広場があるべきというのが基本的な考え方である。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
142	第3章 計画の基本的考え方	週に数日、子育て支援センターにお世話になっており、毎日笑顔で育児ができています。センターは子育て支援に無くてはならない地域の中心的存在です。支援員の質や施設の問題もあり、一朝一夕に作り直せるものではありません。これから母親になる方々のためにも残していかなければならない場所です。センター廃止縮小は、市の子育て政策全体の底上げにつながると懸念します。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
143	第3章 計画の基本的考え方	2(1)子どもの最善の利益を尊重するためには、安易に企業主導型保育事業の参入を受け入れるべきではありません。国は保育士の数など、要件緩和しています。「質」がおざなりになると子どもが犠牲になります。鹿児島市として基準の引き上げ(園庭必須、保育者は有資格者など)をして立入検査する等の姿勢が必要です。	企業主導型保育施設の参入等も含めたあり方等については、現在、国が見直しを進めていることから、今後動向を注視してまいります。また、企業主導型保育施設については認可外保育施設として本市に届け出がなされており、年1回の立入調査や保育所等巡回指導員による随時の立入を行う中で、本市として保育の質の担保を図ってまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
144	第4章 施策の展開	障害をもつ子どもだけでなく外国籍・里子など多様な子どもへ対応できるよう、特に言葉がまだ十分育っていないひっかきや噛みつき等の発生しやすい1・2歳児の保育士の受け持ち定数6対1を1歳児が4対1、2歳児が5対1に、また4歳以上の基準30対1を20対1に改善を望みます。	保育士等の配置基準につきましては、教育・保育を行う際に必要な最低基準となっておりますことから、質の向上や多様化するニーズに対応するため、各園の判断により基準を上回る保育士等を配置することは可能ですが、最低基準を一律に引き上げるにつきましては、今後の参考とさせていただきたいと考えております。	D
145	第4章 施策の展開	いろいろな状況に対して、それぞれの用途で施設が配置されており大変便利と思いましたが。ただ、何がどこにあるのかは知らない方が多く、何の時にどこに相談すれば良いのか、どこへ行けばいいのかわかりにくいと思いました。	ご意見も参考にしながら、子育てに関する相談窓口など、子育て支援に関する様々な情報発信を行ってまいります。	D
146	第4章 施策の展開	2. (1)②多様な保育サービス等の提供 一時預かりが機能していない現状がある。保育所、幼稚園等は在園児を定員いっぱい受け入れているところが多く、一時預かりの子どもを受け入れる余裕がない。特に0-3歳の未就園児の保護者は育児疲れしているため、子どもと離れてリフレッシュする時間が必要である。一時預かり専用保育施設を作ってもいいのでは。	一時預かり事業の実施施設につきましては、市内の子育て支援施設や認可外保育施設、企業主導型保育施設を案内するなど、一時的に保育が必要な保護者に対する情報提供を行っているところでございますが、今後も保育士等の確保の取組みを通じて、一時預かり事業の実施施設の拡大を図ってまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
147	第4章 施策の展開	<p>2. (3)③ア 父親と母親が育児を楽しめるための支援 父親たちは妊娠期の妊婦健康診査で見かけることが多いが、育児期のイベントで見かけることは少ない。様々な理由があり母親中心になってしまうのは仕方がない。特に親子つどいの広場では父親は少数派で、来ても1時間もしないうちに帰ってしまうような光景を目のあたりにする。それだけ居心地が悪いのではないか。だが、それは当然だと思う。まず母親たちは父親を見かけても話しかけない。初対面であっても、母親→母親は話しかけやすいが、母親→父親はなかなか難しい。そして、子どもに何かしなければならぬとき(泣く、おむつ替え、ミルク、ケガ、お友達とのケンカ)の対応に困る。幸い、広場には保育士がいるため、助けを借りることができる。だが、男性は助けを借りることが苦手なため、そういう場面を極力避けたい。となると、もう広場に行きたくなくなる。このスパイラルでやはり子どもは母親がいたほうが良いという考えに至る。いちど、市長と父親の懇談会を開いてはどうか。本当に父親に必要な支援とは何なのか。当事者の意見を聞いてみる必要がある気がする。</p>	<p>子育て支援施設では、父親が参加しやすいような講座やイベントを実施しており、父親の子育てへの参加を呼びかけているところですが、ご意見も参考にしながら、さらなる講座・イベント等の内容の工夫や、周知広報及び父親にとっても居心地のいい雰囲気づくりに努めてまいります。また、父親への育児支援についても、取組を推進してまいります。</p>	D
148	第4章 施策の展開	<p>(6)～(12)の項目は、特に大事だと思います。対応に当たる人材育成に力を注いでほしいです。 ・監視員などを地域ボランティアで確保してほしい。 ・民生委員や児童委員を中心に愛情と思いやり、優しい言葉を持ってお世話ができる人材を募集したら良いと思う。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。</p>	D
149	第4章 施策の展開	<p>経済的な負担の軽減ではなく、質の高いサービス、延長保育、病児保育、児童クラブなどの整備をしてほしい。制度はあっても、利用したいと思わせる内容でないと、安心して、保育に預ける事はできないと思う。利用する保護者や子どもたちにとって環境をまだまだ改善する必要があると思う。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を総合的に推進してまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
150	第4章 施策の展開	<p>(3)③エ(エ)発達に気がかりのある子どもの早期発見、支援について</p> <p>私の場合、育児サークルによく顔を出していたので他の子の発達や先生の意見から自ら保健センターに相談し、小児科や医療センターを紹介して頂き、早くからリハビリや療育につながる事が出来ました。しかし、医療センターの予約や初診にはとても時間がかかるし、1人目の子どもの場合は気づくのも遅くなりがちです。保健センターの保健師の方たちも、人によってはそのくらいのことで？とか相談しにくいところがあります。小さな事でも相談できる包容力と、医療機関や関係施設へのつながりの時間短縮を求めます。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進③子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」において、取組を推進してまいります。</p>	D
151	第4章 施策の展開	<p>産後(特に第1子)子育ての不安や体調不良に加え、睡眠不足が原因でうつ状態やノイローゼに陥ると思われるので、特に実家が遠方など近くに頼る方がいない場合は、精神状態を(定期的に)チェックして、うまく軌道に乗っているかを把握しておくべきだと思います。母親の食事や睡眠をサポートする事が、赤ちゃんの健全な発育、成長に直結すると思います。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実において、取組を推進してまいります。</p>	D
152	第4章 施策の展開	<p>昔と比べて、子どもを産み、育てて行く環境が大きく変わってきているので、それに合わせた社会、環境づくりをしていかなければいけない。</p> <p>施策の概念が、こと細かく書かれていて難しいが、自分自身4人の子育てをしてきているが、子どもが小さい時には、これとって、こうあってほしいと思う、困ったことがなかったが、大きくなると、経済的な事で、学校の選択肢を考えなければいけないことが大変であった。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。</p>	D
153	第4章 施策の展開	<p>夫婦共働き家庭の増加で、多様なサービスができてきていますが、保育園が延長保育19時までなので、学童も19時までの所があってもいいのかなあとと思います。</p> <p>病児保育の面からは、予約が入ってもキャンセルが多い、療育を必要とする子どもが増加してきている。</p>	<p>病児・病後児保育施設のキャンセル待ちについては、その解消に向けて、計画を推進する中で実施機関と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>なお、児童クラブ(学童)の開所時間の延長については、第4章(2)③子どもの健全育成における新・放課後子ども総合プランに基づく取組の推進の中に、検討事項として盛り込んでいるところです。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
154	第4章 施策の展開	「質の高い保育」とは具体性に欠けます。もう少し詳細なスローガンとプログラムにより、各施設が一致して子供の人間形成に努めてほしい。また、「子供の心の安らかな発達」は家族の平和から生まれるもの、両親が一致して楽しく子育てを行ってゆく環境づくりに取り組んで欲しい。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、教育・保育施設では、保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育保育要領等に基づき、幼児期の成長に必要な教育・保育の提供に努めているところです。	D
155	第4章 施策の展開	施策の体系等ができている分、部署での対応となっていないか。問い合わせ(相談)に対して、その場で対応できる体制がとれているのかなと思うこともある。また、転勤してきた方とかは相談できる場を求めているので、そういう場も充実してもらえたら良いなあと思う。	各部署間の連携を図りながら、子育て支援の取組を推進するとともに、相談体制の充実等に努めてまいります。	D
156	第4章 施策の展開	実際子育て中の親にとって、身近で、頼れるのは、身近な地域にある子育て施設だと思います。りぼん館やつどいの広場だけでなく、支援センターや民生委員さん方の運営されている子育てサロンなども、大切にしてほしいです。歩いて行ける距離で、育児相談や同世代の子を持つ親同士、また先生方や地域の方との交流の場があると、子育ての不安や孤独感が解消されます。小さな施設、小さな場、少人数でよいので、このような温かみのある子育ての場を増やしていただくことを望みます。支援センターについては、新生児訪問の際など、助産師さんより教えていただけたら、もっと早くに身近な子育て相談できる場を知ることができたかと思いました。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見も参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。 なお、本市においては、校区社協が行うふれあい子育てサロンの活動を支援する市社協に対して、補助を行っており、今後も支援していきたいと考えております。	D
157	第4章 施策の展開	まず、施策があったところで周知できていないと内容があっても実際に利用する事ができない。	ご意見も参考にしながら、子育て支援に関する様々な情報発信を行ってまいります。	D
158	第4章 施策の展開	(5)④安心して外出できる環境の整備については、やはりおむつ替えや授乳室が充実した施設に行きたくなる。子育て向きの商業施設だと全てそこで買い物を済ませようと思う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
159	第4章 施策の展開	(12)②子どもやひとり親の医療費助成について、娘はアトピーで卵白アレルギーがある。アトピーは早くから治療すると治る可能性が高いそうで通院している。なお、食物アレルギーとも関係しているともいわれるようなので医療費への対応は厚くできれば結果的に将来医療費の削減になるのではないか。(3)⑨むし歯のない3才児の割合も	現在、医療費助成制度は、県の補助事業に基づき、市町村民税非課税世帯の未就学児を除いて、一旦、医療機関等の窓口で医療費を負担していただいてから助成を行っていますが、窓口負担をなくす制度の適用拡大については県に要望しているところです。	D
160	第4章 施策の展開	子育て支援センターの保育士は「支援」をして下さる。親子つどいの広場のスタッフは、その広場の「監督」である。数年前からつどいの広場は相談件数を増やすようになった。子育て支援センターの相談件数と比較するためだろうか。ちょっとした立ち話、世間話の延長のようなものも相談を受けたことにしているのでは？地域偏在というのならば、いっぺこっぺがあるのに何故いしきららを作ったのか？城西などの、ない地域に作らなかった理由は何なのか。5か所新設というのは、5か所廃止にして実現するものではない。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
161	第4章 施策の展開	地域の子育て支援センターは、親の孤立化や虐待の防止に必要不可欠だと感じます。 一般的な相談窓口は育児「指導」、「この月齢ならこのくらい成長していないとだめだ」「お母さん頑張ってください」と言われる点の支援。子育て支援センターは育児「相談」、「子どもによって様々だから大丈夫だよ」「お母さん頑張ってるね」と言ってもらえ、親子の心に寄り添ってくれる目線の支援の場所です。子どもの成長と一緒に見てくれ、喜んでくれます。支援員は親の隠れた不安を感じ取り、助け舟を出してくれます。 子も母親も、地域みんなの広い輪で支えていかなければ孤立してしまいます。見守る目が増え、母親が安心し子の安心につながります。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
162	第4章 施策の展開	ファミリーサポートセンターに登録していますが、お金がかかってしまうので、利用を諦めてしまいます。所得の低い世帯が利用できるサポートがあれば良いのになと思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
163	第4章 施策の展開	<p>・市内5カ所の子育て支援センター廃止反対の署名をしました。子どもが幼いとき、りぼんかんなど大規模な施設と、はらっぱなどの小規模の支援センターの良さの違いを理解した上で、どちらも利用していました。小規模のセンターは絶対に必要だと思います。</p> <p>小規模のセンターのような家庭的な施設が、歩いて行ける距離にいくつもあるような環境になったらいいのにな、と思います。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D
164	第4章 施策の展開	<p>DVや児童虐待などの相談窓口の案内を、鹿児島市の施設では目にしますが、商業施設のトイレなどにも設置してほしいです。コンビニ、タイヨーやニシムタなどのスーパーマーケット、ファミレス、ファーストフード店、フレスポ等ショッピングセンター。女性だけでなく、男性の目にとまる場所にも設置してほしいです</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後ともDV防止ならびに児童虐待防止に向けて取り組んでまいります。</p> <p>なお、DVにつきましては、被害女性が安心して手に取れるよう、カードサイズリーフレットを山形屋などの商業施設の女性トイレ内にも設置していただいているところであり、男性に対しては、男性対象の相談案内カードを市役所等の男性トイレ内に配置しております。</p>	D
165	第4章 施策の展開	<p>子育て支援センターの廃止については「当面の撤回」ではなく、撤回にしてください。</p> <p>現在小学生の子どもが小さい頃、緑ヶ丘のはらっぱにずいぶん助けていただきました。</p> <p>なかよしのやりぼん館には通いづらい家庭もあります。減らすよりもむしろ小規模なものを増やす方向にしていきたい。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
166	第4章 施策の展開	非常にたくさんの施策があり、これらが全てできるのであれば、とても有り難く、素晴らしいことだと思います。その中で私が着目した点が、①妊娠・出産・育児における切れ目ない支援です。市の産婦人科との連携、出産後、子育てサポートができれば1つの箇所(現在保健センターでその役割を果たしていると思いますが、もっと身近に、且つ各家庭に担当の専門職の方)での見守り、支援サービスが受けられたらと思います。②父親と母親が共に育児を楽しめる支援では、家族で遊ぶことのできる施設の充実(りぼん館のような施設をもっと増やして欲しいです)、家族イベントの充実を図っていただきたいです。そして個人的には、大人の遊技場(パチンコや競輪などのギャンブル施設)は減らしていただきたいです!!!!子ども達の為に、大人はもっと頑張らなければなりません!!自分のことよりも…。	医療機関との連携を充実させ、ご意見も参考にしながら、妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実に努めてまいります。また、本市では「子育てをするなら鹿児島市」として、安心して子どもを生み育てられ、その喜びが感じられるよう子育て支援を進めているところでございます。今後も親子で参加しやすく楽しめるような講座やイベント等の開催のほか、さらなる子育て支援機能の充実に向け、取り組んでまいります。	D
167	第4章 施策の展開	概要版P6(素案P68)(1)(に関して、)夜間保育所の設置について 企業主導型への期待があるようですが、持続性、保育の質の観点から不安があります。認可保育所を設置すべきです。	認可の夜間保育所の設置に向けては、これまで設置・運営事業者の募集を行いました。保育士の確保や土地の確保などの課題から設置には至っていないところでございます。また、現在の認可外保育施設の夜間の利用者や、ニーズ調査結果による利用見込みでは、既存の認可外保育施設と併せて、今後設置が見込まれる企業主導型保育施設により確保される可能性があることから、企業主導型保育施設等の状況を注視しつつ、必要に応じてあらためて検討することとしており、ご意見も参考にさせていただきたいと考えております。	D
168	第4章 施策の展開	概要版P7(素案P117)(8)②育児不安を抱える家庭への支援は虐待予防に有効です。5ヶ所の支援センター廃止は中止し、ずっと続け又増やして下さい。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
169	第4章 施策の展開	概要版P7(素案P128)(12)①児童扶養手当 更新の為に市役所で受ける質問に傷つけられると聞きます。何とかならないでしょうか。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
170	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	妊娠、出産期から切れ目ない支援の推進とありますが、家庭環境・認定区分によって、自分の希望する環境の支援を受けられないなどの不安は、やはり、改善されてないと感じます。平等に対応してほしい。	ご意見も参考にしながら、計画に基づき、教育・保育や一時預かり・延長保育などの地域子ども・子育て支援事業の提供を着実に実施し、子育て世帯の希望する支援の充実を図ってまいります。	D
171	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	様々な家庭に対応できるように、子育て支援も多様な取り組みがなされるべきと考えます。特に子育て支援を利用しない・できない親子の支援を拡充していただきたい。そのため、現在の地域子育て支援センターは廃止しないでいただきたい。また、家庭訪問型子育て支援の拡充を望みます。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。また、家庭訪問型子育て支援につきましては、第4章「(2)地域における子育て支援⑥市民団体や事業者等の自主的な活動の促進において、取組を推進してまいります。	D
172	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	いつも思っていた事なんですけど、“病児保育”を増やしてもらいたいです。今は、子供も免疫がつき、カゼもひきにくくなりましたが、いつもキャンセル待ちや、遠い病院しかあきが無かったりして、結局仕事を休まないといけない事が多く、とてもつらく感じました。“病児保育”も無料ではないので長引く病気だと費用もかかりますし、職場での休みの多さに居づらくなる気持ちもでてきて…。これからの子育てをしていかれる方々にとって、安心して病気の子どもを預ける事ができる“病児保育”の新設(たとえば、いつも通っている保育園や幼稚園、小学校に看護師さん常勤。病気の子どもを受け入れる部屋を作っていつもどおりに通わすことができる。他の健康な子供との接触はさせずに保育してもらおう等。通う場所がいつもと同じなら子供の精神的負担、親の不安等も和らげる事ができると思います。いつもの保育園や小学校にそういう施設ができたなら良いのにと、いつも思っていました。)や費用の面についても見直しをしていただきたいです。	病児・病後児保育施設につきましては、業務委託により9施設で実施することとしており、より多くの利用者の受入を施設に要請するなど、利用者のニーズに対応してまいりたいと考えております。	D
173	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	認定こども園の子どもの受け入れ枠をもっと増やす事ができたら待機児童も減るのではないのでしょうか。保育士さんの人材確保が何よりもむずかしいです。	教育・保育の提供体制の確保を図るとともに、潜在保育士の掘り起こしや、保育士養成施設の学生の就労促進などの保育人材確保に努めるなど、今後も待機児童解消に向けて取り組んでまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
174	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	子育て支援センターの廃止に伴い、利用者からの声も上がり一年のみ継続となったが、利用施設に対して、希望者(利用)が多いところは、継続した方が、利用者は助かるのではないかと思います。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
175	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	保育コーディネーターを配置し、保育を必要としている世帯の相談に応じる保育サービスの情報提供を見やすく、分かりやすくしてほしい。(窓口をわかりやすく告知する方法を考えてほしい)妊産婦、乳幼児に切れ目のない子育て支援事業の情報提供をして欲しい。例えば、小児科や産婦人科等に保育施設やベビーシッター等の一覧を配布してほしいです。	保育所等への入所などの相談に対応するため、本庁・谷山支所・伊敷支所・吉野支所に保育コーディネーターをそれぞれ配置しておりますが、わかりやすい情報提供につきましては、今後の参考とさせていただきます。	D
176	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	保育園や幼稚園は人気によって入りにくかったり、入りやすかったりするところがあるので、教育方針や理念や保育士の質の向上と、保育というとても大変な仕事をしてくださる先生方の賃金上昇が必要だと思います。また、地域の子育て支援センターは四六時中、こどもと向き合っている母たちにとってリフレッシュや子どもについての相談など、なくてはならない大事な場所なので、大きめ児童館がバランスよく設置された今後は、各地域に徒歩でも行けるくらい小さな支援センターを増やしていくべきだと思います。小さな、といっても部屋は小さすぎでは子どもが遊ばせんのでそこそこの広さは必要だと思います。	保育の質の向上につきましては、保育所等に対し、保育士等の研修費の補助を行うとともに、保育所等巡回指導員による巡回研修を実施してまいります。また、処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図ってまいります。地域子育て支援施策につきましては、子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
177	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	病児保育をしてくださる所が増えると、働いている方を始め、助かる方がたくさんいらっしゃるのかなと思います。	病児・病後児保育施設につきましては、業務委託により9施設で実施することとしており、より多くの利用者の受入を施設に要請するなど、利用者のニーズに対応してまいりたいと考えております。	D
178	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	ひとり親家庭の子育て支援事業の広報を児童手当申請時等での協力を窓口でもお願いしたい。	ご意見も参考にしながら、今後とも協力を行ってまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
179	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	待機児童解消に努力したり、幼児教育、保育の無償化を実施したり色々な子育て支援サービスが行われているが、母親による育児放棄や家族による児童虐待など悲しい出来事もある。それぞれの機関の連携を密にとりて早目の対処していけたらと思う。医療費を病院の窓口で払わないで済むようにしてほしい。	ご意見も参考にしながら、今後も児童虐待予防等の取り組みを実施してまいります。医療費助成事業は県の補助事業に基づいて実施しており、窓口負担をなくす制度の適用拡大については県に要望しているところです。	D
180	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	教育・保育に関わる全ての人々が、希望、魅力を感じて働ける事業にならなければならないと思います。子育て支援は大変…とだけの印象になってしまっているのが現状ですが、本当は子育て・教育保育って楽しいんだということに気付いていけるサポート提供をのぞみます。	処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図るとともに、業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成などを引き続き実施し、保育士等の就労継続等に取り組むこととしており、今後も効果的な施策について検討してまいります。	D
181	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	共働き世帯が増えている現在、保育園、子ども園のニーズは増え多様化もしていますが、保育士の確保が困難であったり、保育の質、教育の質の維持ができていないのか？と疑問も多くあります。ただ施設等を要望に応じて増やしても少子化が進む社会の中で先々、使用されなくなる恐れもあります。利用状況等も見ましたが、利用実績数は減少しているようなので、税金を使い、どこまで体制を確保できるのか？していくのか？は正直わかりません。地域の子育て支援事業に関しては、県外からの移住者や小さい子どもを育てる家庭のためにもっと力を注いで欲しいとも思います。	共働き家庭の増加等により、保育所等の申込者数は増加傾向にありますが、就学前児童数は減少が見込まれることや、保育士等の確保が困難となっている現状を踏まえ、定員増等の既存施設の活用を優先的に行ってまいります。また、地域子ども・子育て支援事業については、提供体制を確保するとともに、すべての子育て家庭を支援するため、地域での様々な子育て支援サービスの推進を図ってまいります。	D
182	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	幼児期の質の高い教育・保育及び利用状況、利用希望を踏まえて施設を増やす必要性は、十分理解出来るが、まず先に、保育士の処遇改善を行い、保育士の確保をしない限り、急増する、子どもたちを前に幼稚園教諭や保育士は、急変する環境に対応しきれず、子ども1人1人に目を向ける時間が減ってしまい、教育・保育の質の低下に繋がるだけではと、疑問におもいます。そして、保育士離れに拍車をかけたくないよう切に願います。	保育士等の確保につきましては、潜在保育士の掘り起こしや、関係機関と連携した保育士養成施設の学生の就労促進などに取り組んでまいります。また、処遇改善の着実な実施による給与面の改善や業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成など、保育士等の職場定着化も図ってまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
183	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>努めている職場が谷山地区ですが、周囲の声では「希望の保育園には入れない」「病児保育施設に空きがなかった」との声を良く耳にします。資料では、提供サービスが需要と供給のバランスが取れているような印象を持つのですが、果たして地域差に対応できているのかな？と気になりました。安心して産み、育てていくのに必ず必要な施設ですし、上記のような声を聞いた若い世代の人達が、子どもをもうける事にしりごみしないといいなあ…と不安を感じました。</p>	<p>教育・保育施設の提供体制につきましては、市内14地域ごとに教育需要や保育需要の見込みを算出し、今後必要と見込まれる確保必要数を算出しており、今後も地域の状況を注視してまいりたいと考えております。</p> <p>病児・病後児保育施設につきましては、業務委託により9施設で実施することとしており、より多くの利用者の受入を施設に要請するなど、利用者のニーズに対応してまいりたいと考えております。</p>	D
184	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>谷山方面の保育園はいつも待機園児が多く入所できないことが多いので、例えば、こちら方面にあずけると何か得点みたいなことをもうけ、分散できる工夫がほしい。</p>	<p>保育所等に入所できなかった児童の保護者の状況を確認し、通勤経路上の入所可能な保育所等を案内するなど、保護者支援に努めておりますが、全市的な待機児童解消も含め、今後の施策を検討してまいりたいと考えております。</p>	D
185	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>保育の無償化もはじまり、今後さらに待機児童は増え、子ども園も増える、しかし、どんな状況であろうと保育や教育の質は保ってほしい、そのためには、保育士や幼稚園教諭の処遇UPにつとめてほしい。</p> <p>また、保育園、幼稚園、こども園やその他の施設には栄養士、調理士、事務員等も在籍している。そちらにも目を向けてほしい。</p>	<p>保育や教育の質を保っていくため、保育士、幼稚園教諭、栄養士や調理士等も含め、現在の処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図ることが重要であると考えております。また、今後の処遇改善につきましては、国の動向を注視してまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
186	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>「区域」というのは、地域別計画の、行政所管区域のことでしょうか。行政所管区域で分けると、バスの路線や実際の距離など、市民の足や生活区域が無視されてしまいます。市民が本当に市の支援を実感するためには、行政所管区域のみで計画を進めてはいけなと感じます。支援センターの再配置も、本当に「どこに住んでいても同様の支援が受けられるように」と考えると、とても難しいことだと思います。また、地域によって子育て世帯数や子どもの数も違うため、1つや2つの施設では、十分な支援ができない地域もあると思います。「小さな支援センターを、さらに増やすこと」が、「どこに住んでいても同様の支援が受けられる」環境を作ることになると思います。そのために、現在あるつどいの広場や支援センターの縮小は、仕方のないことかと思いますが「廃止」はおかしいと思います。</p> <p>自分自身が小学校教諭で、幼稚園教諭の免許も保有していますが、保育士資格がありません。出産、育児を経験し、子育て支援センターにも出会い「自分もいつか支援センターなど、子育てに関わる仕事ができたら」と感じ、また、他のお母さん方も同様に考えていらっしゃる方がいました。ただ、保育士資格がないため、支援センターで働きたくても、まず園に雇用されないと思われる。保育士不足の今、幼稚園教諭免許保育者や、子育て支援員資格保有者、また、子育て経験者を支援センター職員へ登用できるよう、市から働きかけがあると、支援センターを増やしていく一つの手段になるのではないかと思います。</p>	<p>あらゆる主体が連携し、地域における子育て支援体制を構築することが重要であり、ご意見を参考にしながら、施策を推進してまいります。</p> <p>なお、各事業の提供区域については、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件及び教育・保育施設の整備状況等を総合的に勘案して設定しております。この区域については、第五次鹿児島市総合計画において、地域の特性に応じたまちづくりを推進する観点から定めた地域区分に準じており、行政所管区域を基本に、地形等の自然条件、交通、都市機能の集積等の諸条件を踏まえ、区分しています。</p>	D
187	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>地域子育て支援センターいっぺこっぺを2年7か月利用しているが、この施設がなければ、2人の子どもとどのように過ごしたのだろうかと思う。いろんなことをしたい上の子と、生まれたばかりの下の子を同時に見ることができたのは、いっぺこっぺのおかげだ。下の子をベビーベッドに寝かせ上の子と遊び、センターの先生方が、下の子を抱っこしてくださったりと充実した時間をいっぺこっぺで過ごすことができた。一日のうち1～2時間でもこのような施設で過ごせると親自身の気分転換になる。親子つどいの広場とは利用目的が違う(親子つどいの広場はイベントなど子ども2人一緒に参加できそうなもので利用中)ので、いっぺこっぺはこれからも存続させて欲しい。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
188	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	いろいろな種類があり、自分がどの保育施設を利用できるのかわからない。預け先の人数などが月に1回などの更新で分かりやすくなればいい。	市ホームページや窓口で各保育施設の情報提供を行っているところですが、ご意見を踏まえ、より分かりやすい周知に努めてまいります。	D
189	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	保育士として勤めているが、仕事環境も年々良くなりつつある(給与、待遇(休み、研修参加など))また、働く親の増加も年々延長保育増加や、土日保育利用者の増加で感じられているところで、施設側の保育の向上や、その中でも保育士自身も子どもを育てながら働き、産み育てられる環境はとても重要で、直接利用者へのサービスや保育へもつながる部分だと思う。	処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図るとともに、業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成などを引き続き実施するなど、保育士等の就労継続等に取り組んでまいります。 また、保育所等の入所においては、保護者が保育士等として就労される場合、保育所等への入所を優先的に取り扱うこととしております。	D
190	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	全国的に、子育て支援センターは増やしていく傾向にある。中学校区にひとつあるべきといわれている。出生率を上げるにはまず支援の充実だと思う。実際に、支援を充実させて、子どもの数が増えた例もある。どうか、子育て支援が成功している他県を参考にしていただけないだろうか。訪問型支援も、大分などは行政が積極的に動いていて何力所もあるが、市に唯一あるはらっぱに自主事業だから関係ないという姿勢であることに疑問を感じている。子育てに困難を感じている、虐待の危険性があるような人はそもそも親子のつどいの広場のようなオープンスペースに足を運べていない。きれいで広い立派な施設=子育て支援ではない。財源が問題であるなら、いっぺこっぺのある地域にいしきらを作らずにそのお金でない地域に5カ所作ればよかったのでは？	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。また、訪問型支援につきましては、第4章(2)地域における子育て支援⑥市民団体や事業者等の自主的な活動の促進において、取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
191	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>2歳と生後半の娘二人を連れて、週の半分以上、子育て支援センターいっぺこっぺを利用しています。</p> <p>家にいると、親子で息が詰まることもありますが、支援センターに行けば、2歳の娘は同年代のお友だちや先生と遊び、安心して下の子に授乳できます。時には下の子を先生に抱っこしてもらい、上の子との時間を楽しむこともできます。</p> <p>また、先生や利用されてるお母さん方と話をすることで、子育てなどの情報を共有できて、違った世界が広がることもあります。家のなかで子育てしていると、孤独を感じるがありますが、外に出て先生方と話をすることで、リフレッシュして帰宅することができます。</p> <p>伊敷地区にはいしきららがあるといわれますが、いしきららは屋内公園のような場所で、親子3人で遊びに行っても、家のなかで感じる孤独感と変わらないことがあります。また、下の子をずっと抱っこした状態で上の子を追いかけて回さないといけないので、正直大変です。これから下の子が大きくなって動くようになると、遊びたいものも別々でひろば内を一人で二人を見守るのは大変だろうと想像します。</p> <p>いっぺこっぺは、目の行き届く空間で、尚且つ困ったときには支援して下さる先生がいるので、安心して遊ばせられます。</p> <p>どうか、地域子育て支援センターの再配置でいっぺこっぺを無くさないで頂きたいです。我が家のように特に二人の子を家で見ている母親には必要不可欠な場所です。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D
192	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>市内全域への子育て家庭に支援が行き届くよう再編計画してくださり、ありがとうございます。しかし地域重複を理由に現在整備されている子育て支援センターを廃止することには大きな問題があります。理由とする「親子つどいの広場」は規模が大きく、利用者にとって利用目的や相談機能もまるで異なります。子育ての悩みは毎日変わります。専門家の相談機能も重要ですが、それ以前に地域の子育て仲間と出会い、世間話の延長で悩みを相談したり情報交換できる、身近な子育て支援センターは本当に貴重な場所です。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
193	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	既存の事業や提供体制を充実させていく計画とみましたが、都市部集中、地方は広範囲を集約しているのではないかと気になります。保留になったようですが、施設の適正管理の名のもとに閉鎖されそうになった子どもの施設があったのではないのでしょうか？規模を縮小して、たくさんの施設をつくると、もっと利用しやすくなると思います。ただ、人員や経費が大変でしょうか？	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
194	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	現在、子ども達は認定こども園に通っています。というのも、やはり質の高い教育、経験豊富な職員の先生方、且つ保育園の機能、役割を果たしているということに魅力を感じ、私の理想と合致したからです。これは、子どもがいながら働く母親にとって、大変有り難いことです。是非認定こども園を増やしていただけたらと思います。又、近年“発達が気になる子ども”、“育てにくい子ども”が増えているのも事実です。実際我が子も今年4月から療育に通う予定です。保育の現場でも“早期療育を！”と言われていますが、現状はまだまだです。もっと専門職を増やし、保育士の研修も充実していただきたいです。同時に子どもと保護者への支援もしていただけると助かります。	ご意見も参考にしながら、今後とも教育・保育の充実に努めてまいります。 なお、認定こども園につきましては、確保方策が不足する地域にあっては、需要と供給のバランスを考慮しつつ、幼稚園・保育所から幼保連携型認定こども園への移行を進めるとともに、幼稚園型認定こども園につきましては、教育時間終了後に預かり保育を利用する子どもの保育需要に対応できることから、基準を満たす場合、認定することとしております。 また、保育所等への研修費補助や保育所等巡回指導員による巡回研修を通じて、保育の質の向上に努めるとともに、私立保育所等補助事業や私立幼稚園障害児教育補助事業を通じて、療育を含めた乳幼児への保育を推進してまいります。	D
195	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	4(2)(概要版P29(素案P169・170))保育士・幼稚園教諭の処遇改善はぜひ、行ってほしいと思います。	今後も処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図ってまいります。	D
196	第6章 計画の推進にあたって	それぞれの環境整備の必要性がとても分かりやすかったです。しかし、日本の働き方が、どれだけ子育てのしにくさにつながっているかをもっと考えてほしいです。企業・職場の環境づくり、環境が変えられたとしても、収入が減らない安心した改革を求めたいです。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育てしやすい職場環境づくりを推進してまいります。	D
197	第6章 計画の推進にあたって	子育て支援のための施策を遂行していくために、子育て当事者の思いを第一に考え、子育て現場を実際に見ていただき、利用対象者の意見、現状をよく知る利用施設職員の声に耳をかたむけ、広く公平に意見を求めて頂きたい。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
198	第6章 計画の推進にあたって	<p>素案・全体版の第2章2(8)利用ニーズ把握のための調査結果に地域子育て支援事業の認知、利用の有無のグラフがある。未就園児を対象とする施設なのに小学生児童の保護者に利用ニーズを調査している点、母子手帳交付時にはりぼん館や親子つどいの広場の一部の施設しか案内していない点、認知度の高い施設は低い施設と比べ広報誌や掲示、HPでの宣伝量に圧倒的な差がある点、周りの支援センター利用者に調査を受けた人がいない点などグラフには疑問点が多い。</p> <p>本当に必要とされる子育て支援事業を、机上の会議だけでなく利用者に寄り添って実施して頂きたい。</p>	<p>利用ニーズ把握のための調査については、計画全体に係る子育てニーズを把握するため、調査に関係する市民全体を対象に実施したものです。子育て支援施策については、ご意見を参考にしながら、取組を推進してまいります。</p>	D
199	第6章 計画の推進にあたって	<p>廃止対象にあげられた5か所の子育て支援センターの存続をただただ求める。</p> <p>親子の居場所、子供を産むための時間、子供と向き合う時間をこれ以上奪わないでほしい。</p> <p>やっと見つけた落ち着いて子育てができる居場所、今もこれからも必要とされる支援センターを守りたい一心で、妊娠中のお母さんが、産後まもないお母さんが、これから二人目、三人目をと考えているお母さんが寝る時間を削り、炎天下の署名活動や街頭パレードやストレスで体調を崩し、子供や家族との時間を犠牲にしながらも廃止撤回の活動をした。そこまでしないと子育て当事者の意見を聞いてもらえなかったからだ。</p> <p>素案にある2施策の概要、(2)2子育て家庭の不安感、孤立感(3)2妊産婦の支援3親子の愛着形成、育児不安のストレス軽減(4)子供の心身の健やかな育成のための環境整備に反し、子供を産み育てる環境が著しく脅かされた。</p> <p>たくさんの時間と労力を使って一万の人々の存続の願いを署名という形にして提出し、やっと廃止の思いを聞いてもらえた。思いは散々伝えてきたし、何も間違ったことはしていない。1万を超える署名以上に新設を望む声もなかったはずだ。</p> <p>母子の時間と労力を無駄にしないで欲しい。どうかお母さん達をがっかりさせないでほしい。</p> <p>私のように鹿児島市に移住した事を後悔し、ここで産み育てたいと思えなくなるお母さんを増やさないように、市民のための施策をどうか推進して頂きたい。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
200	第6章 計画の推進にあたって	各役割は大切なことです。今後の推進に期待します。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
201	第6章 計画の推進にあたって	家庭が円満であり、行政・地域・企業・職場のそれぞれの連携により、母親が心にゆとりを持ってこそ子供達も心身共に健やかに育っていくと思う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
202	第6章 計画の推進にあたって	すべての子育て中の市民が子育てに対する負担や不安、孤独感を和らげることができるよう社会全体で子育てを支えられるような鹿児島市であってほしいとおもいます。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、第3章計画の基本的考え方2(4)社会全体で子育て支援を行う中で、「保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識を前提とし、保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることができるよう、行政や企業、施設や学校、町内会などの地域社会が相互に協力しあって、「親育ち」の過程を支援していくことを含め、社会全体で子育てを支援していく施策を推進します。」と、しております。	D
203	第6章 計画の推進にあたって	保育園、保育施設で人間形成にとって最も大切な時期の子どもたちを保育する上で、より手厚く、一人ひとりの心身共に満たされる保育ができるよう、保育士の人数配置を検討して頂けたら…と思います。	保育士等の配置基準につきましては、教育・保育を行う際に必要な最低基準となっておりますことから、質の向上や多様化するニーズに対応するため、各園の判断により基準を上回る保育士等を配置することは可能ですが、最低基準を一律に引き上げることにつきましては、今後の参考とさせていただきたいと考えております。	D
204	第6章 計画の推進にあたって	この計画にあたって、行政、家庭、地域、企業・職場がそれぞれの役割を務め、これから数年後どのように変わっているのか？いい方向性に変わっていることに期待し、見守りたいと思います。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
205	第6章 計画の推進にあたって	どれだけ計画しても、市民の協力がなければ計画通りにいかない事も沢山出てくると思う。その為、市民の理解は最重要になると思う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
206	第6章 計画の推進にあたって	ある一定の収入があれば働く時間を短くして子供との時間を作ることができると思う。市の計画も大切だが、企業との連携も必要になると思う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
207	第6章 計画の推進にあたって	指摘の通り、5つの主体がそれぞれに役割を果たすことが基本、大前提と考えますが、特に企業の貢献は大きいと思います。企業への負担は大きくなりますが、その貢献度合いで家庭や地域への還元は大きくなると思います。行政の後押しのもと、企業の貢献に期待します。子育て支援に貢献している企業の紹介や税などの優遇措置もありますか？ 保護者は当然のこととして、子どものための家庭教育や子育てをしていると信じています。	企業をはじめとして、あらゆる主体が連携して、子育て支援に取り組むことが重要であると考えております。ご意見も参考にしながら、今後とも子育てしやすい職場環境づくりを推進してまいります。 なお、従業員が子育てをしやすい取組を行っている「職場のパパママ応援隊」や「イクボス推進同盟」への参加企業・団体は、市ホームページや夢すくすくネットで紹介しております。また、鹿児島県が実施している「かごしま『働き方改革』推進企業認定制度」において、県中小企業融資制度を利用する場合の信用保証率の引下げ等の優遇措置があります。	D
208	◆その他	子供に発達障害があり、見学に行った幼稚園を保育する自信がないと断られたりしました。児童館でも注意されたりも多く、行くのに苦痛を感じる事もあったので、孤育てだと思ふことが多々ありました。療育以外でも、もっと障害のある子が行きやすいイベントが増えればと思います。療育の必要な子が親が受け入れられずに療育に行かず困り感を持ったまま学校にあがる子もいます。療育施設も質が違うの良い施設が分かればと思います。	子育て支援施設の施設利用や実施しているイベント等につきましては、ご意見も参考にしながら、さらに広く参加することができるよう内容を工夫してまいります。なお、第4章(10)障害のある子どもへの支援の中で、多様な教育・療育等の確保を図るため、障害児通所支援事業所、保育所、幼稚園等における障害児保育を推進するとともに、障害のある子どもの生活支援と社会参加を促進してまいります。	D
209	◆その他	子ども・子育て支援事業計画の市民への理解・浸透と保育職員処遇改善による改善が、市の出生率向上と、保育環境の改善につながると思います。	意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。第二期子ども・子育て支援事業計画策定後、市ホームページに計画を掲載するとともに、子育て支援施設等に配布する予定です。また、処遇改善の着実な実施による給与面の改善や業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成など、保育士等の職場定着化も図り、保育環境の充実に取り組んでまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
210	◆その他	私自身、第一子が二歳になるまで子育てが大変でした。鹿児島市の提供している支援を利用(具体的にはなかまっち、同胞保育園の上町わくわくランド、東部保健センター育児相談)し、すごく救われました。また、そこで出会った母親や先生たちとつながることができ、人の温かみを感じました。また、街を歩いても見ず知らずの方が赤ちゃんに話しかけてくれ、地元鹿児島市で子育てしていて良かったと感じるところです。市外、県外の友人から聞く限り、ほかの自治体に比べ鹿児島市は子育て支援が充実していると思います。だからこそもっと多くの人に市の支援を利用してもらいたいですし、質を良くしていけたら素晴らしいと思います。長くなりましたが少しでも計画のお役に立てれば幸いです。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D
211	◆その他	支援センター廃止を聞いた時には、がく然としましたが、その撤回を求めるママたちの要求にこたえて下さった時には本当に嬉しかったです。ママたちの声が届いた事にもですが、決まった事だと頭ごなしに一蹴するわけじゃなくちゃんとしっかり話を聞いて、向き合ってた事が鹿児島市に住んでいて良かったと思えましたし、今後の展開にも期待しています。ありがとうございました。	子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。	D
212	◆その他	第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進 で言及されている母親・父親になるための準備教室ですが、各支援センターでの開催頻度が年1回か2回しかなく、しかも平日が大半のため参加が出来ませんでした。より多くの方が活用できるよう、開催の回数を増やしていただきたいと思います。また、支援センターでのイベントは子育て中の親子向けのが大半で、妊娠中でも参加できる内容がもっと増えると有難いと思います。	ご意見も参考にしながら、第4章(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実において、取組を推進してまいります。なお、地域子育て支援センターの主な委託先は、保育園であり土曜日や日曜日が閉所していることが多いところですが、ご意見も参考にしながら、妊娠中の人も参加できるような内容も含めて検討してまいります。	D
213	◆その他	毎年インフルエンザが流行しますが、ワクチン代が(病院によって多少差があるようですが)子供1人につき7,000円かかりまして、負担が大きいので、ワクチンを接種しない家庭もあります。少しでも補助がありますと、大変ありがたく思います。感染を広げないためにも、ぜひご検討をよろしくお願いいたします。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
214	◆その他	<p>支援センター減に反対。 鹿児島は他県に比べても未だに子育てしにくい県だと思う。 子育て事業が整っていない。 最近になってやっと親子のつどいの広場等できてきたのに、 なぜ支援センター減などの時代の逆をいくのか。 少子化は理由にならない。 むしろ、少子化を防ぐためにも子育てしやすい環境を整えなければならない。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D
215	◆その他	<p>母性の健康推進だけでなく、母体の健康推進も図っていただきたい。 私自身、出産を経験して、ここまで母体ががたつくとは思っていませんでした。 支援センター等が行っている親子ヨガなど、母体の健康のための企画をどんどん増やしてほしい。 市民のひろば等でいつも確認しているのだが、支援センター、親子のつどいの広場だけでなく、イオンや福祉館でも行われている。谷山方面は力が入っているが、伊敷方面は… 鹿児島アリーナという素晴らしい施設がありながら、子連れのヨガはできない。子連れだと参加することが不可能。もっともっと、母親(父親)や子どもに優しい鹿児島になってほしいことを願う。</p>	<p>男女共同参画センターでは、「健康管理」という位置づけで、子育て中の母親(父親)向けに託児付きで運動の講座を実施しており、今後ともこの取組を推進してまいります。 また、子育て支援施設では、母体健康のため親子ヨガや骨盤体操のほか、料理講座なども実施しておりますが、ご意見も参考にしながら、講座等の内容の充実や多くの方に参加していただける方法等を検討してまいります。</p>	D
216	◆その他	<p>この計画から将来を担う子どもたちに少しでも明るい未来を用意できる事を願います。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。なお、第3章計画の基本的考え方において、「社会の希望であり、未来をつくる存在である子どもたちが、明るく健やかに成長できるような環境づくり」を、基本理念の一つとしております。</p>	D
217	◆その他	<p>親が子を思い、子供も親の事を思い、絆がまずは根本だと思う。そしてまわりの環境がよければ子供が健やかに成長できると思う。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
218	◆その他	ひとり親家庭の医療での窓口負担、行きたくても受診できない家庭もある。申請すればお金は帰ってくるがそれ(支払い)ができない家庭への配慮がほしい。	医療費助成事業は県の補助事業に基づいて実施しており、窓口負担をなくす制度の適用拡大については県に要望しているところです。	D
219	◆その他	役所の方々も日々忙しいとは思いますが、本庁は、職員も多過ぎてよいのですが、各支所は、人が少なくて大変そうな様子が見受けられます。人が少ない中で働かれるのは大変でしょうから、必要な人員、不必要な人員を確認し、無駄なコストはカットし、使えそうな所へうまく使えるとよいです。そしたら、市民の税金も無駄なく使えるのではないのでしょうか。充実させてほしいのに無駄ばかりでは困ります。鹿児島市は、子育てしやすい町と、特別な政策を作っていってほしいです。他の市町村と同じようなことをしているのではなく、進化している市として変わってほしいです。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。 なお、人員配置につきましては、多様化、高度化する行政需要に的確に対応できるよう適切な人員配置を図っており、市民サービスの向上に配慮しながら、ICT化や民間活用などによる業務の効率化を推進し、適正な定員管理に努めているところでございます。	D
220	◆その他	医療費窓口負担をなくしてほしい。ねんね期の子供は抱っこしながら会計は難しいし、動きはじめると、見ながらの支払いは難しいため	医療費助成事業は県の補助事業に基づいて実施しており、窓口負担をなくす制度の適用拡大については県に要望しているところです。	D
221	◆その他	これからもできるだけ様々な立場、環境、年代の方の直接声を聞く姿勢を大切にしていってほしい。部分的ではあるが、これらの利用で本当にありがたく助かっている親もいて、親の立場からだが子どもへも還元して、子どもの未来(子どもが親になる頃)がさらによりよい社会になっていることを願う。	ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
222	◆その他	<p>親子つどいの広場と地域重複する5ヶ所の子育て支援センターが廃止されることになりましたが、利用者にとっては両者の利用目的は全く異なります。広場は「ママ友と一緒に行く場所」「子供を遊ばせる場所」で、センターは「ママ友を作る場所」「みんなで一緒に子どもを見守る場所」です。様々な悩みを共感したり、特に市外からの転入者はセンターで多くの情報を得ることができています。</p> <p>これらは実際に利用している方にヒアリングしないと出てこない意見だと思います。子育て世代の声を生かした子育て政策にしてもらいたいです。市民一体となって「子育てするなら鹿児島市」を作っていきたいです。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D
223	◆その他	<p>これだけ立派な子ども支援、子育て支援があることを、全ての方に知っていて欲しいです。悲しい事件や事故を無くす助けになるはずです。つきましては、これらの支援や事業があることを、もっとたくさん知らせる機会を作ってください。もっと解かりやすい、やさしい告知をしてください。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、子育て支援に関する様々な情報発信を行ってまいります。</p>	D
224	◆その他	<p>子どもは宝です。自分も含め、この世に生まれてくることは、容易ではありません。だからこそ、大人も子どもも一人ひとりが互いに大事にし、大事にされる権利があると思います。中でもお年寄りや子ども、障がいを持った方や、一人で生きていくには困難な人の立場に立って考えていただけたらと思います。それが社会全体に認知され、相互理解に努めていけたらと思います。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。</p> <p>なお、第3章に記載のとおり、すべての家庭が安心して子育てでき、すべての子どもたちが安心して明るく健やかに成長できる環境づくりを進めるため、障害のある子どもや虐待・貧困等の課題を抱える子育て家庭など、配慮が必要な子どもや家庭の支援の充実を図っていくこととしております。</p>	D
225	◆その他	<p>子育て支援センターの廃止は、問題です。ママの孤立を防ぐことが安心した子育てになります。継続してください。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
226	◆その他	<p>2児の父です。私が仕事でいない間、妻は2人の子どもと過ごしています。そして、子育て支援センターをよく利用させていただいています。場所は「はらっぱ」です。子育て支援センターは、私がある時もよく利用します。子育て支援センターの良いところは、天候にかかわらず子どもが楽しく過ごせる場所であること、母親同士の交流が持てること、支援センターにいる職員の方々に相談したり助言を頂いたりできることです。そしてなによりも自宅から近いことです。個人差はあると思いますが、子どもは長時間車に乗ることができません。私の家庭の子ども2人は、座席に座り続けることに疲れ、飽きがきて、叫んだり泣いてしまったりすることがあります。チャイルドシートから降りようとすることもあり危険です。(慣れると自分でベルトを外して降りることができません。外れないような工夫などいろいろ試行錯誤してはいますが…)特に私の子どもは、一人はまだ1歳になったばかりで、もう一人は自閉症で、今の段階では、2人ともしつけでは難しい部分もあります。そのような状況で子供二人を大人一人で見たり、どこかに連れていくというのは危険な場面にあうことも多々出てきます。このような悩みを抱えている人は、私の家庭だけではないと思います。だから、子育て支援センターは近くにあるということも大事だと考えています。だから、子育て支援センターは無くなってほしくないと思います。他の地域にも、近くに子育て支援センターがない家庭も沢山あると思います。今後子育て支援センターは増えていってほしいです。「子ども・子育て支援事業計画(素案)」には、「利用者の立場に立つ」「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」「育児不安を抱える家庭への支援」など書かれています。それが実現できれば、保護者が助かり、子どもの利益に繋がると思います。子供たちの為にもよろしくお願いします。</p>	<p>子育て家庭の孤独感や不安感を解消するため、地域における子育て支援は重要であると考えており、ご意見を参考にしながら、今後、取組を進めてまいります。</p>	D
227	第1章 計画策定にあたって	<p>(概要版)(素案)のP1の計画策定の趣旨の下から2行目『～総合的な計画として、「第二期鹿児島市子ども・～』の文中へ、『～総合的な計画として、平成30年度実施した実態調査を基礎資料とした「第二期鹿児島市子ども・～』とした方がアンケート調査した意義がある</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、この計画は、市民の子育てに関するニーズを把握するために平成30年度に実施したアンケート調査結果のほか、様々な情報を基に策定したものであることから、現行どおりとします。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
228	第1章 計画策定にあたって	良い計画だと思います。	ご意見として承ります。	E
229	第1章 計画策定にあたって	保育の無償化が実現し、今後子育てをしていく世代にとっては、とても良いのではないかと思います。	今後も幼児教育・保育の無償化などを通じて、幼児教育・保育に係る保護者負担の軽減を図ってまいります。	E
230	第1章 計画策定にあたって	“切れ目のない”支援というフレーズ	ご意見として承ります。	E
231	第1章 計画策定にあたって	それぞれの地方が集結して、一つの国が成り立っています。鹿児島市も、独自の発想で、こちらの政策計画を考えて下さった担当の職員の方々の、子ども、子育て支援に対する熱意を感じました。(全ての項目にその熱意は共通して感じ取れます)	ご意見として承ります。	E
232	第1章 計画策定にあたって	5年の計画で実現可能なのか？	計画達成に向け、取り組んでまいります。	E
233	第1章 計画策定にあたって	親となる為の心がけの重要性を、結婚時点での教育の必要を社会全体で共有する広報等機会あるごとに(成人式等)していきたい。	ご意見として承ります。	E
234	第1章 計画策定にあたって	様々な取組が行われているが、それを行うことにより、利用者だけでなく施設などにどのような影響がでてくるのかということも考えてほしいと思います	ご意見として承ります。	E
235	第1章 計画策定にあたって	働き方改革や待機児童の解消に向けた保育の受け皿整備で、はたして無償化を行ったところで、実際待機児童の解消につながるのか疑問です。今まで入園を希望しなかった人も「無料なら…」と施設利用を希望し、待機児童がますます増加する一方なのではと思います。	ご指摘の通り、幼児教育・保育の無償化による今後の教育・保育の需要を的確に見込むことは難しいところではございますが、本計画に基づき、教育・保育の提供体制の確保や保育人材確保など、待機児童解消に向けて取り組みを進めるなかで、無償化による影響等を注視してまいります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
236	第1章 計画策定にあたって	急速な少子化の為、このような計画が立てられた事に、理解する事ができます。	ご意見として承ります。	E
237	第1章 計画策定にあたって	計画の策定はすばらしいが、本来はもっと早い段階で始めるべきだったと思う。	ご意見として承ります。 なお、第一期計画は、平成27年度から令和元年度までを計画期間として策定しております。	E
238	第1章 計画策定にあたって	「男女がともに子どもを生み育てることに夢を持てる環境」ではなく、「家族が一致して夢を追い求めることのできる環境」とすべき。基本は家庭の平和と一致、笑いと感動にある。	ご意見として承ります。 なお、子どもを安心して育て、子どもたちが明るく健やかに成長できる環境だけでなく、子ども(家族)を持ちたいと希望する人が、安心して子どもを生むことができる環境を整備していく視点に立って記載しております。	E
239	第1章 計画策定にあたって	私は転勤で鹿児島に訪れました。この計画の内容に子育て世代の意見を取り込むための意見を、ということによいですか。2年ほどしか住んでいませんので、第一期の内容や実績がいまいちわからないので、なんともいえません。	ご意見として承ります。 なお、第一期計画の内容や毎年度行っている計画の点検・評価の資料については、市ホームページでご覧いただけます。	E
240	第1章 計画策定にあたって	趣旨は十分に理解できました。と同時に緊急の課題であると感じています。 対象・期間など問題ないと思います。ただ、子どものことを考えるとき、妊娠の前提としての結婚、またはそれに類する形での家庭の形成が必要と考えるので、その対策も必要ではないでしょうか。(いろいろな価値観があるので、余計なお世話かもしれませんが、晩婚化の傾向が気になります。)	ご意見として承ります。 なお、本市においては、結婚を希望する人たちを対象とした婚活イベントの開催や、マリーサポート鹿児島の運営など、結婚支援の取組を進めております。今後とも、価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることがないように留意しながら、その取組の充実に努めてまいります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
241	第1章 計画策定にあたって	できるだけ当事者の声を聞きながら策定してください。	計画策定にあたっては、市民の子育てに関するニーズを把握するため、アンケート調査を実施したほか、今回のパブリックコメントについても、子育て支援施設や幼稚園、保育所、児童クラブなど、約670か所に配置し、ご意見を募集したところです。今後も市民の皆様の声に耳を傾けながら、子育て支援の取組を推進してまいります。	E
242	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	女性の年齢別の就業状況を示すグラフであるが、25～29歳及び45～49歳をM字型を示しているが39歳の就業率が6.0ポイント増加しているほか、ほとんどの年代で増加していることがわかる。	ご意見として承ります。	E
243	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	(素案)P10年齢別人口 3行目『総人口に占める割合で20.4%が13.8%と6.6ポイント～』→『総人口に占める割合で、20.4が13.5%と6.9ポイント～』が正しい。 7行目『～11.0%が24.8%と13.8ポイント～』→『11.0%が24.2%と13.2ポイント～』が正しい。表の中の22年度も14.1%が13.9%、21.2%が21%が正しい。(各年度の総人口で算出すると上記数字が正しい。)	年齢3区分別人口割合の分母は、総人口ではなく、総人口から「不詳」を除いた数となっていることから、その旨注釈を加えます。	E
244	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	素案P30(図2-24)の単位 出生数(件)→出生数(人)が正しい。	出生数の単位を「件」から「人」に変更します。	E
245	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	悪化していると感じます。1人親も増え、経済的に苦しい子供も多く、子供に関わる時間は少なくなっていると感じます。また逆にあまやかしなど過保護の親もいて2分化しているようです。	ご意見として承ります。	E
246	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	女性の就業率において25～29歳の割合が多く、結婚・出産の時期と重なっており、これが子どもの出生率低下に関わっていると思いました。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
247	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	少子化対策には、女性が安心して子どもを産み育てられる環境が重要である。社会環境も整ってきてはいるが、それだけでは解決できない女性が抱える不安や悩みが現状に繋がっていると思う。	ご意見として承ります。	E
248	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	働く女性は増える一方、少子化で子どもは減っているのが表れており、将来の不安はつのるばかりです。	ご意見として承ります。	E
249	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	未婚率の上昇が根底にあるように思う。結婚しない自由が認められるようになり、煩わしい人間関係を敬遠する傾向があるようにも思う。では、どうすればいいのかわからない。	ご意見として承ります。 なお、本市においては、結婚を希望する人たちを対象とした婚活イベントの開催や、マリーサポート鹿児島島の運営など、結婚支援の取組を進めております。今後とも、価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることがないように留意しながら、その取組の充実に努めてまいります。	E
250	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	グラフ化されていて見やすかった。少子化の進行に危機感を覚えた。	ご意見として承ります。	E
251	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	婚活パーティーが独身者誰でも気軽に出席できる環境づくり	ご意見として承ります。 なお、本市においては、結婚を希望する独身者を対象とした様々な婚活イベントを開催しており、気軽に参加しやすいイベント内容となるよう努めてまいります。	E
252	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	子どもを増やす為のひとり親への手厚い対応。(未婚でも良い!!!)	ご意見として承ります。	E
253	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	熊本県の「こうのとりのゆりかご」の問題として、公的機関に相談しにくい女性が多く存在すると書いてありました。妊婦、育児相談に対して緊急対応できる窓口の必要性が感じられると書いてありました。	ご意見として承ります。 なお、妊娠・出産・育児に関することについては子育て世代包括支援センターが平日対応しております。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
254	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	<p>少子化対策として、定期的に市が主催される婚活パーティーを開催してみたいかご意見を伺います。民間企業と組まれて企画・運営を委託されたら盛り上がると思います。(隔月、季節感のあるイベントにすると参加しやすいのかなと思います。例:お花見、バーベキューなど)</p> <p>※以前、県外の婚活パーティーで浴衣の貸し出し、着付けを男女共に楽しそうでした。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、本市においては、民間業者への企画提案型の業務委託により、「出会い・ふれあい企業対抗運動会」や「謎解き婚活宝探し」などの婚活イベントを開催しており、引き続き結婚支援の取組の充実を図ってまいります。</p>	E
255	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	<p>近年晩婚化になってきているが、今は、一人が楽と考える人が多くなり、また、結婚をする年齢がおそいと子供を産むのも高齢になり、1人、多くても2人となってしまいその為子どもの数はなかなか増えて行かない。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、本市においては、未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、結婚を希望する人たちに対し、出会いの場となる婚活イベントを開催するなど、結婚支援に取り組んでいます。</p>	E
256	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	<p>病児保育の分野から、子どもが病気の時、鹿児島は親が休めたり親族に見てもらえる環境にあることが多い家庭があるので、いい事だと思いました。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	E
257	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	<p>人口ピラミッドは19才以下の人口が減少しており、切実に少子化が進んでいると感じた。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	E
258	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	<p>IT、AIの時代に向かい、職業の変革が起きようとしている時に、これからも安心して努めることのできる職場環境があつてこそ就業人口の増加、出生率も増加すると思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進①市民や事業主への広報・啓発、情報提供の中で、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
259	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	少子化と言われ続けているのに、子育て世代やこれから出産、子育てしたいと考える世帯について、手厚い支援をできるように市としてもう少し検討してほしい。なぜ少子化になるのか?!まずは、お金がかかるからなのではないでしょうか。高収入の方はいいかもしれませんが、中収入、低収入の世帯にももう少し補助金が出る等してほしいです。少子化の進んでいる他県等の市町村で一人生んだら100万補助するなどTVで見たことがあります。	ご意見として承ります。子育てに伴う経済的負担の軽減に今後とも努めてまいります。	E
260	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	数値の変化の割合が小さいので、よい変化なのか悪い変化なのか、あまり達成感や危機感を実感することはできませんでした。	ご意見として承ります。	E
261	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	ひとり親家庭だけでなく、ステップファミリーの調査・支援をもっと行ってほしいと思います。「母親の再婚相手からの暴力・性被害」の記事をよく目にします。子連れの女性と再婚した男性への支援・サポートはあるのでしょうか？	ご意見として承ります。 なお、相談については各種相談窓口でお受けしております。	E
262	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	「不登校とは、なんらかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること」との記載だが、これに保護者の教育方針によるもの、という記述も入れていただきたい。不登校児童生徒に対する不登校させないための支援があっても、支援そのものが合わず、NPO法人が行っている学校に通っている子どももいる。取りこぼしのない不登校支援を行っていくためのNPO法人による教育活動の記述もお願いしたい。	ご意見として承ります。 なお、「不登校」に関する記載は、国の定義に基づき記載しています。また、「不登校」に関する取組は、第4章(4)子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備②イ豊かな心の育成において実施してまいります。	E
263	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	低賃金、長時間労働が子育てをしにくくしていると思います。現実を見て欲しいです。	ご意見として承ります。 なお、第4章(6)職業生活と家庭生活との両立との推進①市民や事業主への広報・啓発、情報提供の中で、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
264	第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く状況	「4 女性の就業率」(概要版P3(素案P21))のグラフはなぜ必要なのかわかりませんでした。働く女性が増え、出生率の低下を示しているのでしょうか。又は、共働きの家庭の増加を示しているのでしょうか。「子育て家庭をとりまく状況」ならば、非正規雇用の割合の推移や長時間労働を示すグラフの方が分かりやすいのではないかと思います。	25～39歳の就業率が6.0ポイント増加しており、結婚や出産を機に退職する女性が減少し、共働き家庭が増加していることを示しています。なお、計画には、就業状況のほか、育児休業の取得状況や、年次有給休暇の取得状況等を記載していません。	E
265	第3章 計画の基本的考え方	今までの孤立感の対策につけ加え、自己肯定感や切れ目ない支援への取り組みなどすばらしい考え方だと思います。ただ、保護者が子育ての第一義的責任を有する前提は核家族がすすむ中では、重い言葉だと思います。昔のように大家族、地域での子育ての支援に重きをおいて、子育てに対する親への重い責任を感じさせる雰囲気が無くなればと思います。	ご意見として承ります。	E
266	第3章 計画の基本的考え方	基本理念通り、そのみを考えて仕事をする。教育・保育の基本です。絶対重視・厳守してください。	ご意見として承ります。	E
267	第3章 計画の基本的考え方	質の高い教育とあるが、幼児期に正しい道徳教育を徹底することで、助け合う社会、いじめや不登校の無い子供社会へ役立つと思われる、社会全体で子どもの成長を喜びとする社会を形成して欲しい。	教育・保育施設では、保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育保育要領等に基づき、幼児期の成長に必要な教育・保育の提供に努めているところです。	E
268	第3章 計画の基本的考え方	民生委員・児童委員の方が、月に一回程、子育てサロンをしてくださるが、子どもを2人連れて行くと、下の赤ちゃんを抱っこしてくださり、上の子とじっくり遊ぶことができありがたかった。上の子が利用しなくなった現在は、「お兄ちゃん元気？」と声をかけてもらえて嬉しい。	ご意見として承ります。	E
269	第3章 計画の基本的考え方	全てにおいてこの理念が生かされて、策定された計画が実現することを願っています。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
270	第4章 施策の展開	幼稚園の無償化は、はじまったが、おあずけ時間外となると、やはり、別料金が発生してしまうので、その負担の軽減ももう少し考えてほしい。また、365日休みなしで動いている職場もあるので、親も子育てしやすい保育サービスの提供をつくってほしいです。世帯主の収入に限らず、保育料を一定にしてほしい。	幼稚園の預かり保育につきましては、保育の必要性がある場合には月額1万1,300円を上限に無償化されております。保育所及び認定こども園の保育料につきましては、世帯の所得の状況を勘案して算定することとしております。	E
271	第4章 施策の展開	素案P119 事業名『児童相談所設置検討事業』→『児童相談所設置事業』 事業概要の5行目『～の設置などの検討を行い』→『～を設置し、体制強化～』	ご意見として承ります。 なお、児童相談所については、設置することは表明しておりますが、候補地や規模など現段階では検討の段階にあることから、このような表現としております。	E
272	第4章 施策の展開	(5)子育てを支援する生活環境の整備、(7)子どもの安全の確保、等を受けて各小、中学校の周辺に防犯カメラの設置を考えたらどうか。	ご意見として承ります。 なお、犯罪の抑止を目的に町内会等が設置する街頭防犯カメラの設置費用については、一部を助成しております。	E
273	第4章 施策の展開	保育の充実について、質の高い保育の確保とあり、研修費運営費等の補助とありますが、実際研修に行くとなると少ない保育者の数の中、研修に人をとられ、一番大切な現場での保育が手薄になることがままあります。これでは本末転倒です。やはり毎日の保育の現場こそしっかりと力を入れるべきと思います。	質の高い保育の確保に向けた研修の充実につきましては、今年度から配置している保育士等巡回指導員による保育施設への巡回研修を実施することとしております。	E
274	第4章 施策の展開	きめ細やかに書かれていて良いと思います。分かりやすく見やすいです。 幼児教育、保育料の軽減は嬉しいです。お金の問題もありますが、フランスのように、公立大学まで親の負担が少ない子育てができればと思います。幼児教育も園により差があるので、せめて年長では小学校に入って困らないようにある程度の教育を…と思います。	ご意見として承ります。 なお、幼児教育・保育の無償化につきましては、保護者の負担軽減を図るとともに、子どもに質の高い教育・保育の機会を保障することが目的であることから、保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育保育要領等に基づき、小学校への円滑な接続を図ってまいります。	E
275	第4章 施策の展開	これ程充実した施設があるとは思いませんでした。満足です。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
276	第4章 施策の展開	色々な施策がある事を知り、必要に応じ情報提供をできるようにしていきたい。	ご意見として承ります。 なお、第4章(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援の中で、子育て支援に関する様々な情報発信を行うこととしております。	E
277	第4章 施策の展開	2.(2)①地域における子育て支援サービスの推進 地域子ども・子育て支援事業が全域を網羅しているのは承知しているが、鹿児島中央駅と郡元に親子つどいの広場のようなのを作ってはどうか。規模は小さくてもいいので、保育所・幼稚園でないタイプの室内型広場があると良い。一から箱物を作るのは労力もお金もかかるため、理想はイオン内にあると良い。	ご意見として承ります。	E
278	第4章 施策の展開	2.(2)②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援親子つどいの広場ホームページの多言語化。まずは外国籍ピアサロンのあるなかまっちからでも。支援内容は素晴らしく、すべての外国籍の子どもを持つ保護者に知ってもらいたい。2019年4月に入管法が改正され、今後外国籍の子どもは増えると予想される。	ご意見も参考にしながら、多言語対応による外国人子育て世帯に対する情報提供や相談実施等について検討してまいります。	E
279	第4章 施策の展開	2.(3)②イ 妊娠・出産・育児における切れ目ない支援 母子手帳をもらうときの保健師が担当になり(毎回同じ担当は難しいので複数担当制でも可)、妊娠～満一歳までワンストップで相談窓口となる。妊産婦は相談相手というより、むしろ話し相手を求めている。「支援」となると堅苦しいので、支援が必要でない場合も顔を見て話すような機会を持つことが重要である。また、毎回自分の身の上話を違う担当にゼロから説明するのも時間のロスである。	ご意見も参考にしながら、第4章「(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進③子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」において、取組を推進してまいります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
280	第4章 施策の展開	<p>2. (3)②エ 妊産婦の心の支援 産後の訪問指導もできる限り同じ担当が良い。新生児訪問は担当+助産師のダブル体制が理想。いま、母親に産後うつアンケートをとっているかと思うが、それに+担当の総合判断で早期発見につながるのではないかと。妊娠期から知っているのと、妊産婦にどのような心の変化があったのかも察知することができる。そして、信頼関係もできているためお互いに踏み込んで話ができるのではないかと。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、第4章「(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進②妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実」において、取組を推進してまいります。</p>	E
281	第4章 施策の展開	<p>2. (5)③安全な道路交通環境の整備 及び ④安心して外出できる環境の整備 市電の線路で、横断歩道と重なる部分の凸凹をできるだけきれいにしてほしい。ベビーカーでの移動の際に、注意深く渡らなければ誤って子どもがベビーカーから落ちてしまいそうになったことがあった。自宅の周辺で気づいたところでは、棧橋通り交差点の横断歩道。市電の運転士さんにはベビーカーの乗り降りで助けていただいたり、いつも親切な笑顔や態度で接していただき感謝しています。</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、横断歩道の舗装については、巡視等で舗装の凸凹の有無を確認し、凸凹を確認した箇所は、舗装を削ったり、簡易舗装合材を充填するなどの補修を行っております。今後も点検・補修の徹底を図ってまいります。</p>	E
282	第4章 施策の展開	<p>(1)②に書いてある多様な保育サービス等の提供の所に「保育コーディネーターを配置し」とあるが保育コーディネーターとは何か？</p>	<p>保育コーディネーターは、保育を必要としている保護者の相談に応じ、保育サービスの情報提供を行い、保護者のニーズと保育サービスを適切に結びつけ、よりきめ細かな対応を行うため、本庁・谷山支所・伊敷支所・吉野支所に配置している職員です。</p>	E
283	第4章 施策の展開	<p>保育士がしている仕事はサービスなのか？</p>	<p>国においては、多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、休日保育及び夜間保育などを「保育サービス」として位置付けており、第二期計画においても延長保育等の提供については、保育サービスと位置付けているところです。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
284	第4章 施策の展開	子育てサークルやにこにこ子育て応援隊、地域のボランティア等の活動とあるが人材はいるのか？	子育てサークル、にこにこ子育て応援隊とも年々活動は広がってきており、今後とも地域における子育て支援の環境づくりを進めてまいります。	E
285	第4章 施策の展開	基本理念に基づいて、それぞれの施策の中で、できる範囲のことを精一杯行なう。できないことはかかげない	ご意見として承ります。	E
286	第4章 施策の展開	自分自身がまだ出産、育児をしていないので、こんなにもたくさんの支援があるのだと、為になりました。いつか自分が子どもに恵まれて、子育てする時のことを思うと、一番不安に思うのが、経済面・子育てと仕事の両立だと思います。現在、3歳以上の子どもは、保育の無償化が取り入れられ、負担は軽くなって来たと思いますが、いずれは全年齢の保育を無償化にしてもらったり、教育費が多くなる中・高生の児童手当も手厚くしてもらえたら、子育てしやすいのでは？と感じました。	ご意見として承ります。 なお、国によりますと、0歳児から2歳児へのさらなる支援につきましては、少子化対策や乳幼児期の生育の観点から、安定財源の確保と合わせて検討することとされておりますことから、今後も国の動向を注視してまいりたいと考えております。 また、子育てと仕事の両立に関しましては、(6)職業生活と家庭生活との両立の推進にあるように、ワークライフバランスの推進のための施策に取り組むこととしております。	E
287	第4章 施策の展開	概要版P13(素案P93)(3)⑤食育の推進 とても大事だと思う。	ご意見として承ります。	E
288	第4章 施策の展開	私自身、今現在小3、1歳児(7歳差)の保育をする中で、直接大きく助けられているなど感じる部分は仕事をする上でも、保育園入所と病後児保育で、上の子の時は病児保育を利用することなく、仕事の休みを調節し大変だったが、下の子は病児保育をすぐく身近に利用しやすくなったのを感じる。また小学校の教育・児童クラブ等、個々を大切にしてもらっているように感じる。色々なところで少しずつ良くなって、利用しやすくなっているのを感じる。	ご意見として承ります。	E
289	第4章 施策の展開	それぞれの支援や整備、確保、充実、推進が確実に実行されるには、経済的な問題とあわせて、人的教育・育成や補充が必要と考えますが、後ろ盾は何なのか、準備されているのか気になりました。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
290	第4章 施策の展開	病児保育がいつも予約がいっぱいでなかなか利用出来ずに困っています。利用者の多い冬の時期だけでも、増やしてもらえないのでしょうか？	病児・病後児保育施設につきましては、定員を超えた受入を行うなど利用者のニーズに対応しているところでございますが、感染症の流行状況によっては、利用が難しい状況が生じることもありますのでご理解いただきたいと思ひます。	E
291	第4章 施策の展開	年齢差のある子ども三人を、安全に遊ばせられる場所が無いです。 上の子二人が小さい頃に通っていたりぼんかんなどは、年齢差のある下の子が生まれ3人になると、上の子の遊ぶ場所と下の子の遊ぶ場所が離れているため、利用出来なくなってしまいました。なかよしのは、下の子は遊べるけど、体の大きな上の子が遊ぶとまわりに迷惑をかけてしまいます。なかよしのは遊べる年齢が限られていますよね。暑い日や寒い日、雨の日は、科学館やメルヘン館が混み合っていますが、私と同じように、年齢差のある3人くらいの子連れが多いです。鹿児島は暑い時期が長いのでなかなか公園にも行けません。屋内で子どもを遊ばせられる場所があればいいのにな、と思ひます。結局、家でゲームをしたり、DVDを観たりする時間が長くなってしまいます。	ご意見として承ります。 なお、本市が設置している児童センター(城南、三和、郡山)は、18才未満の子どもを対象としており、ご利用いただきたいと思ひます。	E
292	第4章 施策の展開	子どもが増えるとお金がかかります。国の子ども手当の金額では、到底「もう一人産もう」とは思えません。	ご意見として承ります。	E
293	第4章 施策の展開	保育園無償化に伴い、給食費などとして保育園に支払う金額が増えてしまいました。同じように、無償化になったことで、支払いが増えてしまった家庭は多いと思ひます。増えてしまった家庭は、もともと収入が低い世帯なので、声をあげにくいです。支払いが、無償化になる前と同じようにならないのでしょうか？	ご意見として承ります。 なお、幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、保育料の一部に含まれていた給食費は施設への直接徴収になったところがございますが、年収360万円未満相当世帯の方につきましては、副食費は免除することとなっております。	E
294	第4章 施策の展開	川上小学校からダイレックス方面に向かう道は、速度の速い車が多く、事故が心配です。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
295	第4章 施策の展開	<p>「ことばの発達指導事業 ことばの発達に支援が必要な幼児とその保護者に対して、相談・助言・指導を行う。」 ことばの発達支援に、「手話言語の習得」・相談・助言・指導を行う、と入れていただきたい。 ことばの発達支援は例えば聴覚障害児に関していうと、人工内耳装用の子どもや補聴器装用の子どもであっても、視覚言語である手話の習得もことばの発達支援の一つにあたる。市としては手話言語の習得も保護者支援や発達支援の一環として捉えていただきたい。</p>	<p>ご意見として承ります。 ご意見も参考にしながら、今後ともことばの発達支援の取組を推進してまいります。</p>	E
296	第4章 施策の展開	<p>概要版P6(素案P68)(4)ランドセルが重すぎます。教科書、副教材の簡素化、軽量化、学校に保管など検討を。</p>	<p>ご意見として承ります。 これまでもランドセルの重量調査をしておりますが、今後も引き続き、児童生徒の状況や保護者の相談に応じて、細やかな対応をするよう、各学校に指導してまいります。</p>	E
297	第4章 施策の展開	<p>概要版P6(素案P68)(5)子どもがのびのび外で過ごせる空間(草野球やスケボーなど)の整備を。</p>	<p>公園は、子どもがのびのび過ごせる空間として、その規模や特性等に応じてオープンスペースを確保しておりますが、草野球は安全確保の観点から、ボール遊びができる公園を利用していただきたいと考えております。なお、公園は子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が利用される施設であることから、スケートボードなど特定の利用者のための施設整備については、現時点において考えていないところです。</p>	E
298	第4章 施策の展開	<p>児童虐待は、身体的、経済的に困難な時にも、つながると思います。将来親になった時のために、学費や教材にいくらかかるか、どのようにお金を貯めたらいいか、資産運用も含めて、小学校から高校まで継続して教えてほしいです。こちらは、各家庭で教えるのもいいと思うので、簡単な資料を親に配付して、教えるのを促すのはどうでしょうか。教えたくない、という人もいるかもしれないので、あくまで参考に、という風に。中学、高校、大学、専門学校に必要な金額を親が知るだけでも、ありがたいです。私は個人的にセミナーに参加して、子供のために準備しないと、と思うようになりました。</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、消費者教育学習資料として小学5年時に「わたしたちのくらし」(市消費生活センター)、中学1年時に「知っとく!」(市消費生活センター)を、高校生には、「社会への扉」(消費者庁)を配布しております。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
299	第4章 施策の展開	(4)②ウ「健やかな体の育成」(概要版P16)スポーツに関することは素晴らしいと思いますが、近年子どもの近視が増えてきています。海外では屋外活動を増やす等の対策が取られていますが、日本はまだです。視力向上の取り組みもしてほしいです	ご意見として承ります。 なお、保育所等では、子どもが身近な自然や地域社会の人々の生活に触れ、豊かな体験を得る機会が重要であるとの観点から、園外活動を実施しているところです。	E
300	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	私の働く保育園では子育て支援の活動はパートの保育士が担当しています。月に一回園で楽しい催しを計画し、プリントを作り、スーパーや小児科、なかよしのなどに配り、参加者を集めています。ただ毎回なかなか人数が集まらず、0人の事もあります。内容に魅力が無いのかもしれませんが外にもたくさん子育て支援の場所があるからかもしれません。	ご意見として承ります。	E
301	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	表はわかりづらかったです。 小学校教諭、保育士も自分の子供の行事と重なり、見に行けないこともあったり、正勤になると勤務時間の関係で子供の送迎をするのに苦労したりするので、働き方改革が進めば…と思います。	ご意見として承ります。 なお、第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進の中で、多様な働き方に対応した子育て支援を推進するとともに、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供を推進していくこととしております。	E
302	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	保育園と病児保育が連携しており、働く親御さんの大きな助けになっていると思う。	ご意見として承ります。	E
303	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	4. (2)質の高い教育・保育、地域の子育て支援の役割及びその推進方策 毎年、幼稚園・保育所等の表彰をしたらどうか。それにより教諭・保育士の士気も上がる。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
304	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	性教育や思春期等の相談をする専門家は各学校に配置する事が可能なのか？ 保護者にも性教育の伝え方や思春期の子どもへの接し方・付き合い方等が分かるような冊子などを作ってほしい。	性教育や思春期等の相談をする専門家の配置についてですが、児童生徒や保護者への相談に応じるスクールカウンセラーなどを、学校に派遣し、様々な相談に応じております。また、思春期の子どもへの接し方等を記載した家庭に対するリーフレットを作成するとともに、性に関する指導推進事業として、児童生徒、保護者を対象に各学校において、助産師や医師、大学教授等が指導を行っているところです。	E
305	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	1. 素案P135の表で、計画の5か年を通じ2号と3号(1～2歳)の確保必要数がほとんど変わらないように見受けられます。この必要数はいつどのように解消する計画でしょうか。この数を見る限り、定員増やこども園移行のみで対応しきれぬのか疑問です。	国の子ども・子育て支援事業計画基本指針に基づき、令和4年度までの量の見込みに対応する教育・保育施設を令和2年度に前倒して確保を図ることとしていることから、確保必要数は令和2年度にのみ記載しており、全市域で合計480人分の確保を図ることとしております。 なお、定員増等の既存施設の活用を優先的に行うこととしており、補完できなかった場合は施設整備等を検討し、確保を図ることとしております。	E
306	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	2. 地域型保育事業は「－」となっていますが、他の自治体では地域型保育も待機解消の手段として取り入れているようですが、鹿児島市では何故導入されないのですか。	定員増など既存施設の活用を優先的に行うこととしているため、保育所等の教育・保育施設により確保を図ることとしております。 また、地域型保育事業につきましては、原則3歳未満の施設であり、卒園後の受け皿として認可保育所等の連携施設を確保する必要がありますが、整備が必要な地域においては3歳以上の定員数も不足しており、連携施設の確保が困難であることや、質の確保の観点から計画に位置付けないこととしております。	E
307	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	子育て支援給付金は本当にありがたいです。2ヶ月に1回にいただけたら、日々の生活を送るに当たって、ますますありがたいように思われます。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
308	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	少子化の時代だが、待機児童がいたり、希望の保育所にはいれなかったりするの、どうしてなのか疑問に思う。これからの提供体制で、どう変わっていくか見守りたいと思います。	ご意見として承ります。 なお、少子化が進行する一方で、保育所や児童クラブ等の申込者数は年々増加しております。待機児童の解消に向け、推計児童数や利用状況を踏まえ、今後の量の見込みを算出し、その確保方策を計画に盛り込んでいるところであり、計画に基づき、提供体制の確保に努めるとともに、潜在保育士の掘り起こしや、保育士養成施設の学生の就労促進などの保育人材確保に努めるなど、今後も待機児童解消に向けて取り組んでまいります。	E
309	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	小学2年の長男が、小1からたまに登校しぶりをしていました。(長期休み明け、運動会練習中など)通級指導教室などを利用して、不登校は防いできました。小3になると学級の人数が増えて、きめ細やかな対応ができなくなると聞きます。不登校は3～4年から増えてくると聞きます。今、1、2年は定員30人以下学級ですが、3年～からも定員30人学級にしてほしいです。	ご意見として承ります。 なお、教育委員会としても様々な機会をとおして、国・県に教職員増について要望しているところです。	E
310	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	概要版P29(素案P170)(3)小学校との連携は、大切だと思う。小学校側も学校内だけでなく、保育施設等へ自ら接続をしてもraitたいと思う。	ご意見として承ります。 なお、鹿児島市では保育参観や授業参観を通した幼・保・小連携研修会を実施し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を推進しております。	E
311	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	支援事業の内容がわかりづらい。	ご意見として承ります。各支援内容の周知に努めてまいります。	E
312	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	質の高い教育、保育等となっているが、幼児無償化になりそこがうまくいっているのだろうか。	幼児教育・保育の無償化につきましては、保護者の負担軽減を図るとともに、子どもに質の高い教育・保育の機会を保障することが目的であり、今後も研修機会の拡大を通じた保育の質の向上に努めてまいります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
313	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>妊娠・出産期から切れ目のない支援を行ってありますが、1歳半、3歳児検診、就学前などマイナンバーがあるので、データベースで見れる様にして、その時期に見るスタッフが共有できればよいのではないのでしょうか。毎回、説明するのが大変。親世帯にどういった事業が使えるのか、もっと分かりやすいパンフレット等を作ってほしい。ファミリーサポート事業があるのを人から聞いた。私が見てないのが悪いですが…不妊治療をしている世帯にも、手厚くしてほしい。子どもが欲しいのにお金がかかりすぎるのは大変。</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、第4章(2)地域における子育て支援②子育て支援のネットワークによる情報発信、支援の中で、子育て支援に関する様々な情報発信を行うとともに、(3)母性及び乳幼児等の健康の確保及び増進⑧不妊に悩む方に対する支援の充実において、不妊に悩む方への特定治療支援等の取組を推進していくこととしております。</p>	E
314	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>イギリス発祥の「ホームスタート」(家庭訪問型子育て支援)が県内いくつかでやられている。孤立しがちなシングルマザーや保育園、幼稚園に子どもを預けられない保護者への寄り添いは、児童虐待や保護者の心の安定に有効と思われる。鹿児島市ではどの事業に含まれるか。含まれないとすれば、新設できないか。 行政での補助があれば広がるのではないか。親自身がひきこもりで地域へ出ていけないケースへの対処は大切です。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、第4章(2)地域における子育て支援⑥市民団体や事業者等の自主的な活動の促進において、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。</p>	E
315	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>最近「鹿児島県安心ネットサポーター」の初級を受講しましたが、多くの保護者が受講できるように応援してほしい。</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、第4章(4)子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備④有害環境から子どもを守る対策の推進において、インターネット上の情報等に対する連携を進めてまいります。</p>	E
316	第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制	<p>〈質問〉 概要版P29(素案P170)(3)の教育、保育施設等と小学校との連携は、県内、全国転勤の家庭はどうしているのでしょうか。</p>	<p>県内又は県外から転入された家庭の保育施設等と小学校の連携につきましては、子どもの育ちを支えるための資料として、保育施設等から小学校に児童要録を送付することとなっており、一定の連携が図られております。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
317	第6章 計画の推進にあたって	このようなパブリックコメントに対し、名前や住所を書く事に抵抗のある方もいる。家事・育児におられる中、年末年始の忙しい時期に読み慣れない分厚い事業計画を理解し、意見を書くのはハードルが高いと感じる方々もたくさんいる、具体的な施策もないため非常にコメントしづらい内容である事も理解して頂きたい。	ご意見として承ります。	E
318	第6章 計画の推進にあたって	(1) 行政の役割 保育幼稚園課がせまい。保護者の相談中、子どもを預けられるサービスが欲しい。託児室を作るか、相談部屋を個室(プライバシーのためにも)にする。未就園児と一緒に長時間相談するのは保護者に酷。欲を言えば、予約制にするとなおさら良い。	ご意見として承ります。	E
319	第6章 計画の推進にあたって	頑張ってください	ご意見として承ります。	E
320	第6章 計画の推進にあたって	病児保育“利用したくない”との意見があったが、理由が知りたい。職場の意識や、ニーズに合わせた保育に努められるように努力していきたいと思えます。	病児・病後児保育を利用したいとは思わないという意見について、その理由は把握していないところでございますが、今後の参考とさせていただきます。	E
321	第6章 計画の推進にあたって	企業にも妊産婦休業手当など、休暇の取りやすい施策を行ってほしい。	ご意見として承ります。 なお、第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進①市民や事業主への広報・啓発、情報提供の中で、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	E
322	第6章 計画の推進にあたって	地域の方にも知ってもらうことは大事だと思うが、この頃公園等の規制も厳しく、ボール遊びのできないところも多い、安全面等のこともあるが、遊べる場所を子どもたちにもっと提供して欲しい。	ボール遊びは、他の公園利用者に危険が生じたり、周りに住む方への迷惑となっていることから、禁止としておりますので、ご理解いただきたいと存じます。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
323	第6章 計画の推進にあたって	子育てするには、親の努力も十分必要とは思いますが、とはいっても、やはりお金がないと生活はできません。パートで働いても、保育料等で収入の半分以上はなくなります。子供の手当も3歳児未満はオムツ、ミルク代でほとんど手元に残りません。働きたくても、子どもが病気をすれば、休むか、病児保育もまたお金がかかります。親が頑張っても、お金はかかるし、自由もない。核家族だと楽しく生活したいけど、余裕がないのが現状です。子にかかる費用が少しでも抑えられたらいいです。	国によりますと、0歳児から2歳児へのさらなる支援につきましては、少子化対策や乳幼児期の生育の観点から、安定財源の確保と合わせて検討することとされておりますことから、今後国の動向を注視してまいりたいと考えております。	E
324	第6章 計画の推進にあたって	いつの時代も、子どもを生き育てるのは親の特権であり、責任です。しかしその為にはやはり金銭面が重要です。希望としましては0～2歳の保育料の無償化、保育士のパートの時給の賃上げをお願いしたいです。生活の余裕が心の余裕になり、より家庭教育の充実に繋がるのではと思っています。	ご意見として承ります。 なお、国によりますと、0歳児から2歳児へのさらなる支援につきましては、少子化対策や乳幼児期の生育の観点から、安定財源の確保と合わせて検討することとされておりますことから、今後国の動向を注視してまいりたいと考えております。 また、保育士の賃金につきましては、処遇改善の着実な実施による給与面の改善を図ってまいります。	E
325	第6章 計画の推進にあたって	(4)企業・職場の役割(概要版P31(素案P172))働き方の見直しが話題となっている昨今ですが、残業は多い上、子育て世代の労働時間と賃金、所得伸び悩みを示すデータもあります。残業しないと、所得が低くなる。しかし、子育て世代は、早く帰りたい。この願望をきちんと会社に伝えられる社会になってほしいです。	ご意見として承ります。 なお、第4章(6)職業生活と家庭生活との両立の推進にあるように、労働者、事業主等の意識改革を図るための広報・啓発、情報提供や、男女がともに働きやすい職場づくりの推進のための施策に取り組むこととしております。	E
326	◆その他	全ては理想どおりにはいきませんが、子供を思う気持ちで動いて下さっていることには感謝しています。	ご意見として承ります。	E
327	◆その他	保育士不足と言われますが、就職してすぐに辞めるという現状もある。保育士の職務の大変さもありますが、まず仕事を全う出来る基本的な人間形成も大事だと思います。簡単に資格を手にしても続けていけなければ意味がないので、続けて行ける力を培ってもらえたらと思います。	ご意見として承ります。 なお、処遇改善の着実な実施による給与面の改善や業務負担軽減につながる施設の取組みへの助成など、保育士等の職場定着化も図るとともに、保育所等への研修費補助の助成を通じて、研修機会の確保による保育の質の向上に努めてまいります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
328	◆その他	全体的に、具体的で素晴らしい計画だと思う。それを行う人員も確保することが困難になりそうな印象がある。	ご意見として承ります。保育士不足等の課題の解決を図りながら、今後とも子育て支援体制の整備に努めてまいります。	E
329	◆その他	ベビーカーが通れない、公共の場所でも禁煙でない場合がある、女性の仕事について意識が高くないなど… 鹿児島は、まだまだ子育て支援については遅れていると思います。次の世代のために少しでも改善して欲しいです。	ご意見として承ります。	E
330	◆その他	そもそも計画案自体が難しく書かれてあり一回読んだだけでは分かりにくい。もっと誰が見ても分かるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
331	◆その他	“子育てするなら鹿児島市” 子育ては楽しい、子どもは宝、子どもってかわいい…周りの大人が同じ思いで関わっていききたいですね！	ご意見として承ります。	E
332	◆その他	◎学童(児童クラブ)利用の無料化 保育園も無料化になったので学童も無料化にできないか。保育園を利用した家庭のほとんどが学童を利用しています。	児童クラブの運営に必要な経費にかかる財源については、国において、国・県・市及び保護者がそれぞれ負担するよう示されているところです。なお、本市においては、経済的に配慮が必要な世帯については、減免措置を行っております。	E
333	◆その他	放課後支援の経済的充実にも努力いただきたい	ご意見として承ります。 なお、児童クラブにおいては、経済的に配慮が必要な世帯については、減免措置を行っております。	E
334	◆その他	幼児無償化で恩恵を受けている人も多いが、そうでない人も多い。市として他にフォローできることを考えて欲しい。	ご意見として承ります。	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
335	◆その他	<p>育児中の、毎日忙しいお母さん方にとっては、内容を絞ったパブリックコメントにさせていただけると、より書きやすかったかと思えます。もっとたくさんの方から意見を集めることができたかもしれません。Webでは資料を見ながら書けず、書面でないと書けませんでした。ですが、このように市民の声を聞いて、いただいたこと、ありがたく思いました、ありがとうございます。子育て支援がより良いものになるよう願っています。</p>	<p>ご意見として承ります。この計画を基に、本市の子育て支援の充実に努めてまいります。</p>	E
336	◆その他	<p>「子育てしやすい鹿児島市」の詳しい内容が知りたい。大体的ことは、他県にも当たり前にあるものだ。療育施設がたくさんあり、無料であることその他には何があるのか。家で子どもをみるのが大変なら保育園に預けて働いた方がいいのだろうか。保育園がこの問題を解消してくれるのだろうか。働く人が増えれば、財政ますます厳しくなるのでは？保育士不足、待機児童問題に躍起になっているときに。</p>	<p>ご意見として承ります。 なお、子育てガイドや、夢すくすくネット等で本市の子育て支援の取組を紹介しております。</p>	E
337	◆その他	<p>経済状況や仕事の環境などで、「子どもを生まない」「つくるにしても一人」という選択をする家庭が増えています。 しかし、わたくしが住む川上地域では保育園も小学校も2人、3人兄弟姉妹が多数います。ときに子どもさんが4人、5人のご家庭も。わたくしの家庭も小3の双子と4歳児の3人兄弟姉妹です。こんなに生活と子育ては大変ですが、「生む家族は生む、増やす」のではないのでしょうか。 人口減の社会においては、「子どもゼロ、ないしは一人」の家庭に替わって、増やせる家庭にはどんどん増やしてもらおう。 支援センターの充実や家事育児への行政のサポート、待機児童の解消、子ども手当の増額や税率優遇、など、多産家庭への補助を手厚くしていただきたい。 例えば、国からの子ども手当に加算して、市独自の手当を一人目は月5000円、2人目には月10,000円、3人目には20,000円、など実現できたら県外から移住する家庭も増えるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として承ります。子どもを持ちたいと希望する人が安心して子どもを産み育てることができる社会づくりに取り組んでまいります。 なお、待機児童の解消につきましては、本計画に基づき、教育・保育の提供体制の確保を図るとともに、潜在保育士の掘り起こしや、保育士養成施設の学生の就労促進などの保育人材確保に努めてまいります。また、保育所等に同一世帯から2人以上入所する場合の多子世帯への負担軽減など、経済的支援に引き続き取り組んでいくこととしております。</p>	E

No.	項目	意見等の概要	意見等に対する検討結果	対応区分
338	◆その他	家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)地域で育て支えるためにも行政が責任を持ってすすめて下さい。	ご意見も参考にしながら、第4章(2)地域における子育て支援⑥市民団体や事業者等の自主的な活動の促進において、今後とも子育て支援の取組を推進してまいります。	E
339	◆その他	〈質問〉 (概要版P25(素案P128)について) 認可施設は定員いっぱい、"認可外施設"に預ける人もいますと思いますが、"認可外施設"はなぜ3才からの無償化が対象外なのでしょうか。	認可外保育施設につきましても、保育の必要性が認定された3歳から5歳児につきましては、月額3万7,000円を上限に無償化されます。	E
340	◆その他	初めてこのような意見を書いたので、所々拙い点があるかと思えます。鹿児島に昨年から来たばかりですが、子育てしやすい社会を目指してぜひ頑張ってください。	ご意見として承ります。	E